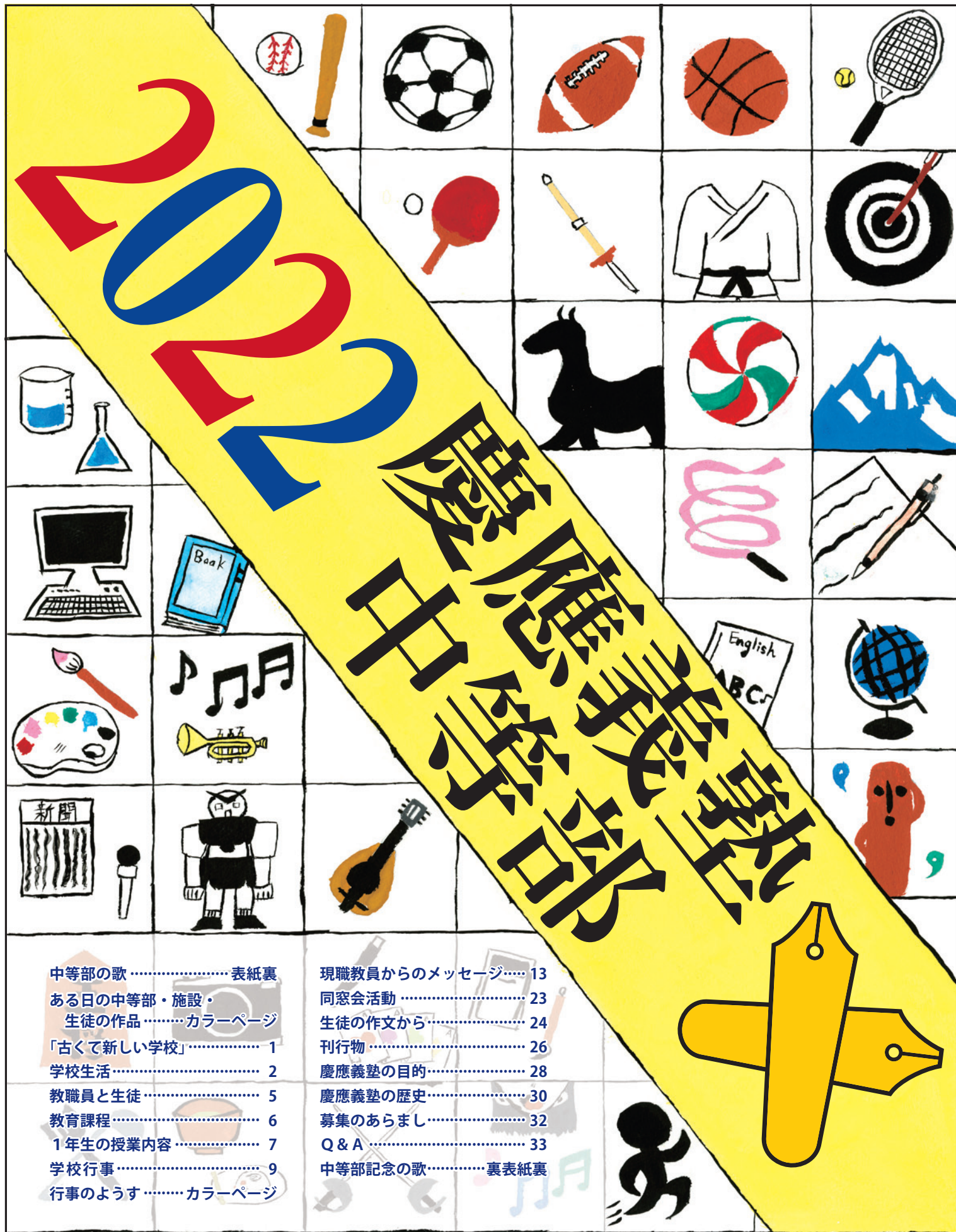




中等部の歌	表紙裏
ある日の中等部・施設・生徒の作品	カラーページ
「古くて新しい学校」	1
学校生活	2
教職員と生徒	5
教育課程	6
1年生の授業内容	7
学校行事	9
行事のようす	カラーページ

現職教員からのメッセージ	13
同窓会活動	23
生徒の作文から	24
刊行物	26
慶應義塾の目的	28
慶應義塾の歴史	30
募集のあらまし	32
Q & A	33
中等部記念の歌	裏表紙裏

若きはゆたかなれ

中等部の歌

一、風にむくむく

色のをさゆけて

慶應の旗

いよいよはそい

若きは清く
あれ

二、海の反射は

三田を照して

独立の塔

ますますや
あれ

若きはほが
あれ

折口信夫 作詞
芥川也寸志 作曲

三、またれりや

自尊の世代

この我を見よ

学にそそれり

若きはほが
あれ

四、今や自尊の

世代またり

慶應の旗

独立の塔

いよいよ照るを

若きはほが
あれ

広瀬裕之 書

中等部の歌について

1948年、「慶應義塾中等部の歌」が作詞・折口信夫、作曲・芥川也寸志によって作られ、同年9月28日に日比谷公会堂にて発表記念演奏会が開催されました。

折口 信夫（1882～1953）

元慶應義塾文学部教授。国文学者・民俗学者・歌人。民俗学を国文学的研究に取り入れ、民俗学的国文学を確立した。また釈迦空の筆名で歌人としても活躍。

芥川也寸志（1925～1989）

20世紀の日本を代表する作曲家・指揮者。1948年4月から49年12月まで中等部音楽科教諭。1948年度1年A組担任。

ある日の中部部



三色旗



基準服



英会話の授業



理科の授業



休み時間（中庭）



試験中

施設



正門から見た校舎



ポプラ館



ポプラ館 CAV室



ポプラ館 音楽室



ポプラ館 家庭科室



FUTURE館



FUTURE館 教室C



体 育 館



体育館 アリーナ



体育館 中体育室



体育館 多目的コート



体育館 プール



大 教 室



普通教室



綱町グラウンド

生徒の作品



「古くて新しい学校」

慶應義塾中等部長 井上 逸兵

慶應義塾中等部にご関心をお寄せいただき、まことにありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は社会のあらゆるところで大きく、中等部も他の学校と同様に対応を迫られました。正直に申しあげて、コロナ期は中等部のよさの多くを剥ぎ取られた思いでした。リアルな人と人の関わりや、物理的、身体的な活動を通して生徒たちの成長を支えることを大切にしてきた我が校にとっては歯がゆい思いを多くする日々でした。

しかし、その一方で、学校とは何か、自分たちの学校がどんな学校なのかを、生徒も教職員もあらためて認識しなおし、今ではバージョンアップした中等部になりつつあると思っています。学校としてSDGs 宣言をしたことも、その一助となっているかと思います。今の地球規模の問題の中に、中等部での学びや活動があることを意識において毎日を過ごしています。

さて、中等部が掲げてきた理念は「自立した個人を育む、自由な教育」です。アナログで、身体を通した活動を大切にしてきた学校ですが、このようなコロナ禍の社会、デジタル中心の社会にあってもその理念が生きていることを中等部の活動を通してお伝えできればうれしく思います。

慶應義塾の創設は、幕末の1858年にさかのぼります。当時は中津藩のまだ若い藩士であった福澤諭吉が江戸築地の藩邸に開いた蘭学塾が発祥です。近代化を迎える激動の時代にあって、西洋諸国と伍するためには、国を支える一人一人の人間が真に独立していかなければならないと福澤は考えました。福澤の「独立自尊」の理念は慶應義塾全体の教育の根幹です。

そして、中等部の創立は1947年です。戦争が終わり、新しい自由な時代の幕が開けた頃のことです。中等部には慶應義塾の塾歌に加えて「中等部の歌」があります。折口信夫の作詞による1948年につくられたこの歌には「来たれり今や 自尊の世代」という一節があります。新しい時代の若者たちを「自尊の世代」と謳ってこの中等部はスタートしたのです。慶應義塾中等部はこの二つの新しい時代の始まりにあって意気揚々と未来を語り、思い、新しい時代の先導者であろうとする志を伝統の礎としています。つねに新しい時代の入り口に立つ気概をもった古い学校なのです。

創立時から中等部が共有してきたことは「人間関係が明るい学校を目指そう」というものでした。教職員同士、生徒同士、教職員と生徒の間に、お互いに自由に意志を伝えあえる人間関係を作り上げようという気持ちを皆がもっている学校です。そのような中等部の「空気」も、ぜひ感じとってください。

先に、慶應義塾の「独立自尊」という言葉を紹介いたしました。中等部では「独立自尊」の意義を「自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物であれ」と中学生にも分かりやすい言葉で説いてきました。「独立」とは、色々な個性を持った一人一人が個人として尊重されるということでもあります。「自尊」とは、独立した個人が自分を尊重することです。この「独立自尊」が相手にも他人にも存在しているという考えを、しっかりと身に付けて学校生活を送り、その後の人生も歩んでほしいと私たちは願っています。

中等部はどこまでも自由で楽しい学校です。ただし、「自由」とは勝手気ままに、他人や世の中のことはお構いなしに振る舞うことではありません。そんな「自由」は本当は楽しいものではありません。「独立自尊」に根ざした、本当の意味で楽しい「自由」な学校、笑顔と笑い声の絶えない学校であり続けたいとも願います。

学 校 生 活

生徒には、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っています。集団生活を行う上で、ある程度の規則を設定することはもちろん必要です。しかし、規則があるからやむを得ずを守るのではなく、生徒各人がなぜ好ましくないのかを「気品の泉源」「智徳の模範」の主旨に照らし合わせて考える習慣を養うため、「べからず」式の禁止事項を最小限にとどめ、自由の中に規律を求めることを目指しています。

〈中等部生活上守るべきこと・

知っておくべきこと〉

学校で生活するにあたっての申し合わせ事項を紹介しましょう。

服 装

[中等部生としてふさわしい、気品のある、端正なものであること]

1. 服装は自由であるが、バッジを常につけ、ジーンズなどは避ける。
2. アクセサリーなどはつけない。また、髪の毛の染色・脱色はしない。
3. 式および諸行事には、基準服を着用する。

人間関係

[相手の人格を尊重し、良好な関係を築いていこう。自分がされたくないことを、相手には絶対にしない]

1. 常に相手の立場を考え、思いやる気持ちを持つ。
2. お互いに協力し合い、困っている人がいたら手を差し伸べよう。
3. 身体的、精神的に相手を傷つける行為はしない。
4. 集団での無視、中傷、いやがらせはしない。
5. ネットやメールでのやりとりにも気を付ける。

校 内 — 登校時から下校時まで

[学校という社会生活のルールを守り、礼儀正しくふるまおう]

1. 午前7：30以前には登校しない。
2. 中等部手帳・生徒証・ロッカーキーは、常に携帯する。
3. 必要以上の現金は持ってこない。
4. 授業に必要な電子機器は持ってこない。
5. 漫画やゲーム類を持ってこない。ただし碁・将棋は例外とする。
6. 菓子類は、持ってこない。
7. ケガや事故につながるような危険な行動をとらない。
8. バットやラケットや固いボールなどの危険なものでは遊ばない。
9. クラスボールは周囲に配慮して使う。蹴る、強く投げる、高く打ち上げることはしない。
10. 緊急事態の場合、すぐに教職員へ連絡する。大人の助けを必要とするとき、各HR教室では「非常通報装置」が使用できる。
11. 中等部と綱町グラウンドの行き来には、必ず横断歩道を利用し、歩道を歩く。
12. 体育館では、赤ひもの運動靴を使用する。
13. 大声を出すなど、周辺住民の迷惑となるような行動は慎む。
14. エレベーターは原則使用しない。

校 外 — 登下校時および休日

[校外においても、中等部生らしい良識のある態度をとろう]

1. 登下校の途中に寄り道をしない。
2. 大学、女子高構内には立ち入らない。
3. 日曜・祭日などの休日は、原則として登校しない。

校 友 会

[校友会活動は、学業と並ぶものであり、積極的に参加しよう]

1. 校友会の入部・退部は、その校友会の部長と担任に書面で届け出る。
2. 校友会の活動は、一つの校友会について、平日週3日以内とする。休日の活動については、各校友会の部長の判断により、必要に応じて行う。
3. 夏休み中の活動日数は、休暇日数の半分以上とする。
4. 試験前1週間と試験中は、校友会活動をしない。

2019年度 校友会合宿一覧

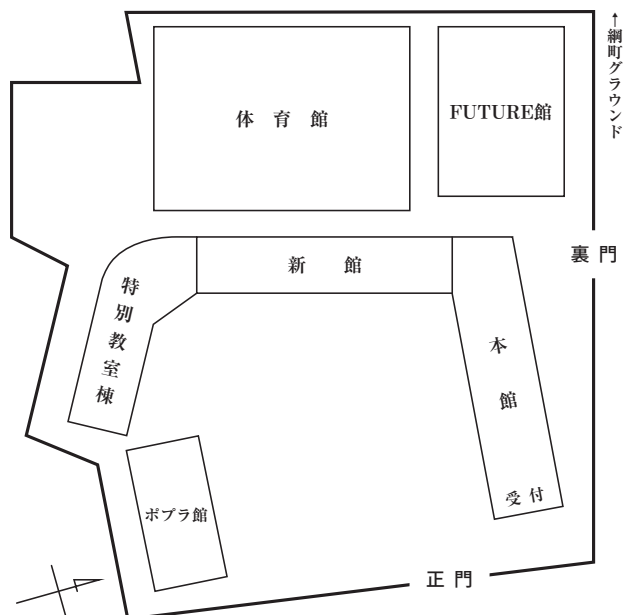
学 芸 部	期 間	行 先	運 動 部	期 間	行 先
英 語 研 究 会	9/1～9/3	埼玉県飯能市	弓 術 部	4/1～4/4 7/28～7/31	石和温泉 石和温泉
化 学 研 究 会	9/3～9/5	大洗・袋田	剣 道 部	7/27～7/31	勝浦
カ メ ラ ク ラ ブ	8/26～8/28 8/29～8/31 9/1～9/3	岡山県真庭市 新潟県妙高市 兵庫県神戸市	サ ッ カ ー 部	8/24～8/27	掛川市
器 楽 部	3/28～3/31 9/1～9/5	清里 苗場	山 岳 部	3/24～3/27 7/27～7/28 8/4～8/8	戸隠 上州武尊山 西穂高岳
近代劇研究会(ダンス)	4/3～4/6 8/21～8/25	中等部 中等部	柔 道 部	8/21～8/23	小諸
コ ー ラ ス 部	8/7～8/10	苗場	女子ソフトボール部	8/20～8/23	山中湖
社 会 研 究 会	9/1～9/3	神戸	水 泳 部	3/24～3/27 7/31～8/4	福島県土湯温泉 港区三田
将 棋 部	9/4～9/6	下部温泉	体 操 部	8/27～8/30	港区三田
書 道 部	8/27～8/29	中等部	卓 球 部	3/24～3/27 8/1～8/4	大網 飯綱
地 理 研 究 会	8/31～9/2	新潟・酒田・新庄	テ ニ ス 部 (男 子) (女 子)	8/2～8/5 8/1～8/4	那須高原 菅平高原
図 書 の 会	7/22～7/23 9/2～9/3	中等部 中等部	馬 術 部	8/22～8/26	望月馬事公苑
美 術 部	9/3～9/5	秩父 美の山	バスケットボール部	3/23～3/28 8/28～9/1	福島県棚倉 北志賀竜王高原
文 芸 部	8/17～8/19	花巻市	バレーボール部	3/25～3/28 7/27～7/30	中等部 中等部
報 道 研 究 会	8/30～9/1	大阪	フ ェ ン シ ン グ 部	8/30～9/2	慶應立科山荘
マンドリンクラブ	8/7～8/10	苗場	野 球 部	8/19～8/22	諏訪湖
模 型 部	9/1～9/3	静岡	ラ グ ビ ー 部	8/1～8/4	菅平高原(長野)
歴 史 部	9/1～9/3	奈良・大阪			

※2020年度の校友会合宿は、新型コロナウイルスの影響で、すべて中止になりました。

〈施 設〉

都心にある学校ですので、敷地などの面では決して恵まれているとはいえませんが、施設を徐々に増やし、より良い学習環境を整えてきました。

普通教室のある本館と新館、特別教室棟などがあり、体育の授業や運動部の練習など屋外の運動は、校舎から少し離れた所にある綱町グラウンドを使用しています。グラウンドの脇には1993年に武道館（剣道場・柔道場・弓道場）が完成しました。また、1990年にポプラ館が、2000年にはFUTURE館が竣工し、視聴覚教育を中心として、さまざまなメディアを駆使した授業が行えるようになりました。さらに、アリーナ・中体育室・小体育室・セミナールーム・和室・多目的コート・プールを備えた新体育館が、2011年3月に竣工しました。



教職員と生徒

教員は、生徒に適切な指針を示し、その成長の道のりを見守るよう、努めています。お互いの信頼関係に基づいた上で、明るい人間関係を築くことを目指しています。

〈生徒〉

中等部の1学年の生徒数は約240名です。各学年とも男女混合の6クラスで、1クラスの生徒数は約40名です。また、男女の比率はおおよそ2:1です。今年度4月の生徒数は以下の通り（カッコ内はそのうちの幼稚舎からの進学者）です。

	1年生	2年生	3年生
男子	156(31)	158(19)	155(13)
女子	96(43)	97(47)	95(47)

〈高校への進学〉

3年の卒業時に中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。男子は高等学校（日吉と略、以下同様）、志木高等学校（志木）、ニューヨーク学院高等部（NY）のいずれか、女子は女子高等学校（女子）、ニューヨーク学院高等部のいずれかです。昨年度の卒業生

（252名在籍）の進学状況は以下の通りです。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部（藤沢）に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部へ進学はできません。

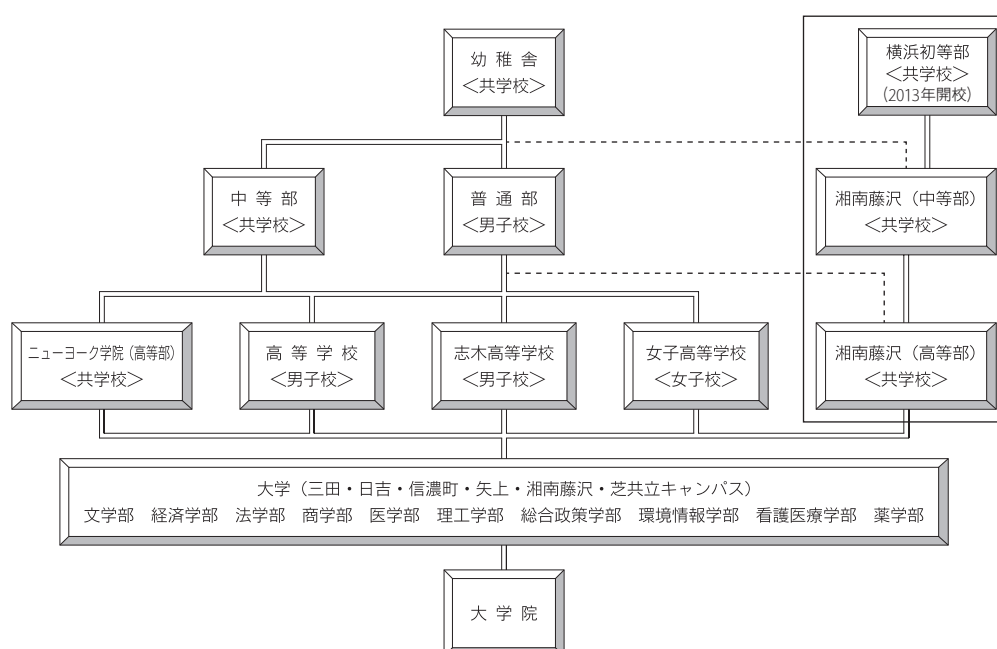
	日吉	志木	女子	NY	藤沢	その他
男子	135	9	－	1	9	2
女子	－	－	91	1	3	1

〈教職員〉

今年度の教員数は、部長1名、主事1名、その他の専任教員41名、非常勤講師28名です。事務職員は事務長1名のほか12名、保健師1名、カウンセラー1名です。なお、校医は7名が交代で健康管理にあたっています。

教員の間には、教務、行事、図書、年鑑、メディア、施設などの諸委員会が設けられ、学校の運営と教育の充実のために努力しています。また、環境教育委員会が環境整備に取り組んでいます。

教員の学術研究も活発で、研究会や研修が常に行われており、教員による著書や学術論文、研究発表や講演も少なくありません。1995年3月には紀要『ウェリタース』第1号が発刊され、その後年1回刊行されています。



教育課程

生徒が将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人になることを教育目標としていますから、学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。つまり、慶應義塾の大学を卒業し、社会の中核の人物になり得る素地を作るためには、いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を積み重ねることが必要で、それが自分の可能性の発見につながるのです。

〈授 業〉

授業時間は45分単位です。年間を通じて授業は午前8時10分に始まります。月曜日から金曜日までは6時間の授業があり、午後2時20分に終わります。土曜日は4時間の授業とホームルームがあり、午後0時30分に終わります。週6日制となっています。

1時限	8：10～8：55
2時限	9：05～9：50
3時限	10：10～10：55
4時限	11：05～11：50
昼休み	11：50～12：40
5時限	12：40～13：25
6時限	13：35～14：20

1週間の授業時数は、各学年とも35時間です。体育では男女別で授業を行いますが、それ以外の科目はすべて男女一緒です。また、英語Ⅱでは、各学年ともネイティブスピーカーと日本人の教員が一緒にひとつの教室で授業をするティームティーチングを実施しています。さらに英語Ⅲでは、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成による授業が行われています。技術・家庭や習字、国語演習、数学演習でも、クラスを2つに分けた少人数教育を行い、より一層一人一人に目が届く指導を心がけています。

学期は3期制で、学期ごとに各科目で成績評価が出されます。考査は年間5回の定期考査の他に、科目により平常考査が行われます。これは、定期考査と平常考査の両者に一長一短があるため、併用しているのです。また、レポートの提出やノート検査、課題や宿題の出来具合等、考査以外にも評価の対象になることがあります。

総合的な学習の時間は時間割に組み込まず、各教科や行事の中で総合的な学習の要素を取り入れた指導をしています。

週当り授業時数

		1年	2年	3年
国語	I	2	2	3
	II	2	2	2
	演習	1	1	—
	習字	1	—	—
社会	I	2	2	2
	II	—	—	2
	III	2	2	1
数学	I	3	3	2
	II	2	2	2
	演習	—	1	1
理科	I	2	2	2
	II	2	2	2
音楽		2	2	1
美術		2	1	2
保健体育	体育	2	2	2
	保健	1	1	—
技術・家庭		—	2	2
英語	I	3	2	2
	II	2	2	2
	III	1	1	1
選択		—	—	2
情報		1	1	—
道徳・特別活動		2	2	2
計		35	35	35

〈選択授業〉

3年生になると、週に1回、2時間連続して行われる「選択授業」を受講します。多彩な講座の中から自分の興味や関心に応じて、選択しますから、より一層学習意欲を高めるきっかけになると思います。

選択授業では、ふだんの授業で取り扱わない内容や教員の専門分野を生かした内容なども受講できるように工夫されています。クラスの枠をこえたメンバーで受講しますから、生徒も教員も新たな環境で学びあうことを楽しみにしています。

2021年度 実施科目一覧

落語を楽しもう

作家入門 ～創作を楽しむ～

小説から考えるニッポン

推理小説を推理する

書道×芸術

いのちの法律学

マネーの「IQ」を学び、感動を「設計」する

SDGs のすゝめ

ミツバチの世界へ、ようこそ！

アンサンブルを楽しもう

造形ワークショップ

ハンディクラフト

英会話（advanced／intermediate）

フランス語入門

スペイン語入門

映画と音楽

TED から学ぶ英語プレゼンテーション

目指せ留学！ TOEFL® に挑戦

演習数学／理科演習

1年生の授業内容

1年生では、まず授業に慣れ、自分の勉強方法を確立することが大切です。毎日の授業をしっかりと聴いてノートを取り、予習・復習を心がけるよう指導しています。以下に、1年生の授業内容を簡単に紹介しましょう。

国 語

国語Ⅰでは、物語や小説、詩、短歌、俳句などの文学作品を中心に、随筆、説明文、論説文など、さまざまな形式の文章に触れながら、内容を正確に読み取る力を養います。文章をみんなで元気よく朗読することもありますし、「学問のすすめ」の暗唱も行います。また、週1回の演習の時間では、ことばを用いて自分を表現することの楽しさを学びます。原稿用紙の使い方などの基礎的な学習から始まり、俳句・短歌の創作、ブックカバーの制作、ディベートなど、さまざまな表現活動を行います。

国語Ⅱでは、わたしたちがふだん使っている「ことば」というものについて深く考えるために、音声や文字、ことばのきまりを学びます。

習字では毛筆を使い、文字を正しく、美しく、速く書くために行書を中心に学びます。

クラスを2つに分けて、少人数で展開します。

社 会

社会Ⅰと社会Ⅲがあり、それぞれ世界地理と歴史を扱う科目です。

社会Ⅰでは、地図帳を用いて、世界の国々・世界の地形・世界の気候などを学習します。また、林間学校の準備学習として、目的地の地図を用いた授業も行います。

社会Ⅲでは、日本史の他に世界史も適宜扱い、1年生では、人類の発生や四大文明、ギリシャ・ローマの歴史なども学習します。

数 学

数学Ⅰでは代数分野を、数学Ⅱでは幾何分野を扱います。

数学Ⅰでは、基本的な計算を中心に、正負の数の計算から始めて、文字式の使い方、方程式・不等式の解法と文章題、関数の意味と比例・反比例などを扱います。

数学Ⅱでは図形の基礎的な用語の説明から始めて、作図と移動、空間図形などを学習します。時には論証を重視して扱うこともあります。

理 科

化学・物理を扱う理科Ⅰと、生物・地学を扱う理科Ⅱに分かれています。

理科Ⅰでは、水溶液や気体の性質、力のはたらき、光の進み方などを、実験を取り入れながら学習します。

理科Ⅱでは、植物と大地の変化について学習し、屋外での観察・スケッチや、顕微鏡での観察レポートなどの課題が出ます。

音 楽

まずは「慶應義塾塾歌」「中等部の歌」を歌えるように練習します。様々な歌を歌ったり、リズム遊びから楽譜の読み方の基礎を学習したり、「春」「越天楽」「魔王」「ブルタバ」などの鑑賞も取り入れています。アルトリコーダーの演奏も楽しめます。

美 術

3年生における油彩画制作の前段階として、1年生では、厚塗りが可能な不透明水彩絵の具（ガッシュ）の使い方を学ぶところから始めます。絵の具の使い方に慣れたら、大学構内に写生に行きます。また、デザイン、木版画や陶芸も経験します。

保健体育

保健の授業では、最初に健康とはどういう

ことなのかを考えます。体のしくみを初歩的に学び、さらに体の発育・発達について、また運動することで体のはたらきがどのように変化するかなども学習します。

体育の授業では、サッカー、ソフトボール、水泳、バレーボール、バスケットボール、剣道、持久走などを行います。発育、運動能力について個人差はありますが、中学生期は体の発育・発達の面で大切な時期です。運動の得意、不得意に関わらず、まじめに努力することが大切です。

情 報

コンピュータの操作などの実践的な学習活動を通じて、情報を適切に処理して日常生活や社会生活において活用できる能力を身につけることを目標としています。

文字の入力やソフトウェアの活用、データの整理などといった基本的な操作や、ネットワークに接続された本校のコンピュータシステムの活用について学習していきます。

特にコンピュータネットワークを利用する上でのルールやマナーについては、油断をせず、しっかりと学習することが大切です。

英 語

アルファベットの確認から始めて、一年間で英語で自己紹介や身のまわりのことが表現できるようにします。常に外国と日本の文化の相違について意識しながら、なるべく日常よく使う単語やフレーズを中心に学習していきます。英語Ⅰでは問題集を活用し、基本的な文法を学び、英語Ⅱではネイティブスピーカーとのティームティーチングを活用し、英語Ⅰで学んだことを実践的に運用します。英語Ⅲはクラスを分割し、日本人教員2名が担当します。少人数制を生かし、ローマ字や辞書の使い方、歌や音読、文法の復習など英語Ⅰ、Ⅱを補うきめ細かい指導をしています。

学校行事

毎日の授業以外にも大切なことはたくさんあります。友達と和を深めたり、一緒に目標に向かって頑張ったりしながら、かけがえない思い出をつくりあげていく、それが中等部の学校行事です。

昨年度はコロナ禍で宿泊を伴う行事をはじめ、多くの行事が中止を余儀なくされました。例年の学校行事を紹介します。

新入生歓迎会 (4月)

2・3年生全員が新入生を歓迎し、あわせて校友会の各部の内容の紹介をします。昨年度は各教室への同時中継で行われました。例年のプログラムは次の通りです。

第1部	1. 開会宣言 2. 中等部の歌 3. 生徒会委員長挨拶 4. 新スタッフ・局員の紹介 5. 生徒会機構の説明
第2部	学芸部の紹介
第3部	運動部の紹介
第4部	1. 新入生へのプレゼント 2. 新入生へのインタビュー 3. 閉会宣言

健康診断 (4月)

身長・体重などの計測や、視力・聴力などの検診を細かく行います。

BLS 講習会 (4月)

新入生を対象に、専門の指導者による一次救命処置 (Basic Life Support) と AED 作動訓練を行います。救急手当の手順を学ぶと共に、大切な人・命を救うため、勇気を持って一刻も早い対応ができるよう知識と技術を習得します。

遠足 (4月)

学年ごとに、近郊への遠足を行います。入学以来、緊張していた新入生にとっては、担任とのふれ合いや、クラスメイトと仲良くなるよい機会になっています。一昨年度の各学年の行き先は次の通りでした。1年生の感想も載せておきます。

1年……昭和の森公園

2年……武蔵丘陵森林公園

3年……筑波山

今回、私たち1年生は昭和の森公園へ行きました。この遠足でのテーマは、「中等部生になろう」というものでした。このテーマから、友達を増やし、クラスの親睦を深めることと、慶應義塾中等部生としての自覚を持って、責任のある行動を心がけることが、中等部生になるための一歩だと思いました。まだ入学して1か月も経過しておらず、クラスメイトのことを全く知らなかったため、この遠足でもっとクラスメイトのことを知りたい、そして旅行委員としての役割を果たしたい、そのような思いで遠足へ行きました。

行きのバスでは、バスガイドの方がバスで通った場所や見えるものをたくさん教えてくれました。それをきっかけに近くの席だった子と会話がはずみ和気藹々としていけると、あっという間に昭和の森公園に着きました。バスを降りて多目的広場に向かい、レクリエーションである「タオルリレー」や「ボール送り」、「長縄」をしました。どれも難しく優勝はできなかったけれど、クラスの団結が深まったように感じました。その後、お花見広場では、きれいな桜を見ながらお弁当を食べたりお菓子を交換しあったりと、とても楽しい時間を過ごすことが出来、嬉しかったです。お昼ごはんを食べ終え、記念撮影をし、そこから少し歩いた太陽の広場で自由時間になりました。そこではバレーボールをしたり、だるまさんが転んだをしたりし、クラスの親睦がより深められました。帰りのバスでは公園で楽しく過ごしたように、みんなが幅広い人と話していて、遠足を通しての変化が感じられました。

この遠足では、クラスメイトとの親睦がより深まり、旅行委員としてもやりがいも感じられ、多くのことを学べた良い機会だったと思います。これからの中等部生活をよりよくするためにも、この遠足で学んだことを忘れず、普段から様々な子と交流をしていきたいです。

(1A ○○○○)

慶早戦応援 (5月または6月)

春季の東京六大学野球リーグ戦の慶早戦の応援に行きます。1年生は全員参加します。

校内大会 (5月・7月・10月)

学年ごとにクラス対抗で球技や水泳などを行い、全生徒が参加します。例年行われる種目は次の通りです。

5月	ソフトボール	(各学年男子)
	バスケットボール	(各学年)
	ドッジボール	(各学年)
7月	水泳	(各学年)
10月	サッカー	(各学年男子)
	バレーボール	(各学年)
	綱引き	(各学年)

古典芸能鑑賞会 (6月)

毎年、古典芸能に関する演劇の鑑賞会を実施しています。国立劇場などへ行き、本物の舞台を観る貴重な体験もします。今年度は、以下のように鑑賞会を行う予定です。

全学年 落語 (中部部体育館)

林間学校 (7月)

1学期の最後に、各学年で全員参加の林間学校が行われます。事前に図書室やインターネットなどで目的地について調べておき、現地で地形・地誌・動植物・歴史などに触れ、実体験を通じて学習します。夏休みにその結果をまとめ、2学期の展覧会の際に発表します。3泊4日で、一昨年度の目的地は次の通りでした。

- 1年……富士
- 2年……奥日光
- 3年……蓼科

富士に行った1年生の感想を紹介します。

[1日目]

大学からバスで出発し、まずはじめに北口本宮富士浅間神社で参拝しました。着いた時にちょうど霧が出てきて、とても美しく、自然を肌で感じました。その後、富士山世界遺産センターに行き、富士山の地形や、富士山が描かれた絵などを学びました。そして、奥庭で写真撮影を済ませてから、昼食を食べてバスに戻り、次の目的地である富士山パノラマロープウェイへと向かいました。時間がおしていたため、本当は上りは自分たちで歩き、下りはロープウェイで帰ってくるという予定でしたが、ロープウェイで上り、下りを歩くということになりました。ロープウェイから見える景色はとても綺麗で、これから歩いて下っていくのをがんばろうと思わせてくれました。

[2日目]

まずはじめに、三湖台へ行きました。三湖台までは、最初から最後までずっと急な坂道が続き、とても辛かったですが、友達と話しながら重い足を一步步ず動かしているうちに、頂上に辿り着けました。頂上からの眺めはとても良く、青い空とどこまでもつづく美しい山を見てみると、だんだんと心が落ち着き、まだまだ頑張ろうと思うことができました。

次に向かった鳴沢氷穴は、夏だということに寒く、またとても神秘的な場所でした。そして、バスの中で昼食をとり、元気になってから精進湖民宿村まで行き、バスでホテルに戻りました。

[3日目]

3つの班に分かれての班別行動でした。3班は石割山を登りました。石割山まで登る道中にはとても長い階段があり、途中何度も心が折れそうになりましたが、“あと少し”と心の中で思い、なんとか登りきることができました。また、雨が降り始めたため、平尾山、太平山、長池山、花の都公園へは行けませんでした。とても楽しかったです。夕食後のレクでは、演歌やものまね、お笑いなどの出し物をみんなで楽しみました。

[4日目]

みんなで飯盒炊爨をしてカレーを作りました。野菜を切ったり、火をおこしたり、

お米を炊いたり、具材を煮込んだりと、とても忙しかったです。特に、具材を煮込む時は煙が顔に当たるので、目が痛くなり、涙で目が赤く腫れあがってしまいました。ですが、出来上がった時にはとても達成感がありました。残念ながら味は特に美味しいとは言えませんでした。みんなが強い絆で結ばれた気がしました。この絆がもっと深まるように、毎日を過ごしていきたいです。

(1B △△△△)

なお、今年度については検討中です。

保護者会

年に4・5回、年度始め、中間考査後や学期末に行います。担任教員と保護者が生徒の成績や生活などについて話し合います。まだ不安のある1年生の1学期や進学をひかえた3年生の2学期は、時間をかけて行います。

校友会の合宿・旅行 (長期休暇中)

夏休みを中心に、各校友会で、練習や試合の他に2泊から5泊の合宿・旅行が行われています。行き先は各校友会により異なります。

海外研修 (夏休み・春休み)

希望者を対象とした3種類の海外研修を行っています。

夏期英国研修(3年対象)では、青少年用の宿泊施設に英国の生徒と一緒に寝泊まりし、様々な野外活動を通して現地生との交流を深めます。春期英国研修(2年対象)では、英国ホカリル校の生徒宅にホームステイをしながら同校の授業に参加し、日本とは異なる生活様式や学校の様子を体験します。2019年度新設の夏期ハワイ研修(3年対象)では、イオラニ校の寮に現地生と一緒に滞在し、イオラニ校のスタッフ主導で現地生と共に課題解決プロジェクト型の学習を行います。

昨年度はZoomを使ったオンライン交流のみ行うことができました。

これら中等部主催の研修以外にも、義塾関連の複数のプログラムを紹介しています。

運動会 (10月)

大学の日吉キャンパスの陸上競技場にて、陸上種目・団体競技などをクラス対抗で行います。一昨年度のプログラムは次の通りです。

1. 開 会 式 (全 員)
2. 徒 競 走 (3年男子全員)
3. 3 人 4 脚 (2年男女)
4. 行軍レース (各学年男子)
5. ABCDEF 対抗リレー (各学年)
6. タイムレース① (各学年)
7. 満 腹 競 走 (3年男女)
8. 陣取り綱引き (女子全員)
9. 徒 競 走 (1年男子全員)
10. 借 物 競 走 (各学年男女)
11. 各部対抗リレー (運動部・学芸部)
12. フォークダンス (全 員)
13. 徒 競 走 (2年男子全員)
14. レディーファースト (1年男女)
15. タイムレース② (各学年)
16. 早かご競走 (3年男女)
17. 徒 競 走 (女子全員)
18. 騎 馬 戦 (男子全員)
19. クラス対抗リレー (各学年)
20. 閉 会 式 (全 員)

ホカリル校日本語研修受け入れ (10月)

春期英国研修で中等部生のホームステイ受け入れをした生徒を中心に、20名弱の日本語学習中のホカリル校生が来校します。数日間、中等部生宅でホームステイをしながら授業に参加します。パートナーの生徒はもちろんのこと、クラス全員にとって、同年代の外国人と共に学校生活を送ることができる貴重な国際交流の機会となっています。

展 覧 会 (11月)

校友会の各学芸部が研究成果を発表するほか、学年の部屋では林間学校の学習結果の発表や個人作品の出品もあります。また、運動部も発表や招待試合を行っています。展示は20数室に及びます。

この展覧会には、翌年中等部を受験しようと考えている小学生やその保護者の方が多数訪れ、学校と生徒を直接見て知ることができるよい機会となっています。今年度の展覧会は11月6日(土)12:00~16:30、7日(日)9:30~16:00に開催されます。

なお、ポスター・パンフレットの表紙は、毎年生徒の作品から選ばれます。



〈2019年度のパンフレット〉

音楽会 (12月)

校外の施設を借りて、クラスごとに音楽の授業の成果を発表します。全員が出演者となり、舞台に立ちます。また、後半の第二部は、器楽部による管弦楽演奏・マンドリンクラブの合奏・コーラス部の混声合唱です。

なお、3年生の曲は例年、各クラスの生徒による創作曲です。

一昨年度の生徒の感想を紹介します。

私たち3年生にとって最後の音楽会。そして、クラス一丸となって行う最後の学校行事でもありました。中等部では、3年生は音楽会のために自分たちで曲を作ります。私はこれまで2回あった音楽会で上級生が自作の曲を歌うのを聴いてクラスへの愛や思い出がたくさん詰まった歌詞と完成度の高い曲に感動していました。2学期最初の音楽の授業で決めた私のクラスの曲はハモリパートが多くて聴きごたえのあるものでしたが、その分音程をとるのが難しく、練習を始めてすぐの頃は全然上手く歌えませんでした。それでも、練習を重ねるにつれ、一体感が増していき、本番でも練習通りに歌いきることができました。クラスの皆と共に一つの曲をゼロから作り上げたことは、卒業前のとても良い思い出と経験になりました。3年生の歌を聴いて、昨年や一昨年前の私と同じように、下級生がこんな風に歌いたいと感動してくれていたら嬉しいです。

(3B ☆☆☆☆)

生徒会総会 (12月)

全生徒が一堂に会して、生徒会事務局からの年次報告を確認したり、中等部生活をよりよくするために意見を交換したりします。

昨年度は生徒会が進行し、各教室へ同時中継しました。そのプログラムを紹介します。

第1部

1. 開会宣言
2. 生徒会事務局活動報告・委員会活動報告ならびに質疑応答
3. 新生徒会委員長の所信表明演説
4. 新生徒会委員長に対する方針上の代表質問

第2部

1. 生徒会総会実行委員会活動報告ならびに質疑応答
2. 討論に関する諸注意

第3部

1. 議題及び動議に対する質疑応答・討論採決

第4部

1. 閉会宣言
2. 講評

キャリア講座 (1月)

社会のさまざまな分野・業界で活躍している卒業生を10人ほど招いて講座を開き、その中から生徒が自分の興味・関心に合わせて2講座を選び、お話を聞きます。生徒会総会の議決によって実現した行事です。

見学 (3月)

1・2年生は、社会・理科の授業の一環として、見学を行っています。今までの見学場所は、工場・ゴミ処理施設・大学・研究所・博物館・歴史散策などです。

卒業旅行 (3月)

3年生は、卒業する前に九州へ4泊5日の旅行をします。福澤先生ゆかりの大分県中津や長崎をはじめとして、九州北部を巡ります。

行事のようす



入学式



大学構内見学（旧図書館にて）



健康診断



遠足（千葉県・昭和の森公園）



新入生歓迎会



慶早戦応援



海外研修旅行（春）



校内大会（サッカー）



古典芸能鑑賞会



避難訓練



Basic Life Support（BLS）訓練



林間学校（山梨県・富士）



校内大会（バスケ）



校友会（弓術部）



運 動 会



海外研修旅行（夏）



生徒会総会



展 覧 会



ホカリル校日本語研修受け入れ



音楽会



見学（もの知りしょうゆ館・野田工場）



「Improvised English Comedy」鑑賞会



卒業旅行（熊本）



卒業旅行（長崎）

現職教員からのメッセージ

国語科

みなさんは芥川龍之介や宮沢賢治の作品を読んだことがありますか。彼らが活躍して百年近く経ちますが、今でも多くの人に読み継がれています。本当に面白い作品や文章は、いつまで経っても色あせないものです。ふだんの授業でもこうした色あせない作品に接する機会をつくっています。みなさんも自分が読んで感動した小説や物語をだれかに紹介したいと思ったことはありませんか。残念ながらまだ出会っていない人には、よい出会いがあることを願っています。よき出会いというのは容易なことではないのですから……。

そこで、まだ出会っていない人にも朗報があります。これから「国語演習」という授業で一年生が取り組んだ課題を紹介します。「国語演習」はふだんの授業では取り扱わないテーマについて、実際に自分で考え、工夫し、作り上げていくのを目的としています。ただ作るだけでなく、自分のメッセージがきちんと相手に伝わる、さらに相手に受け入れられることも大事です。個性的であっても独りよがりではどうしようもありません。仲間の意見も取り入れながらテーマにそって創作活動を行います。

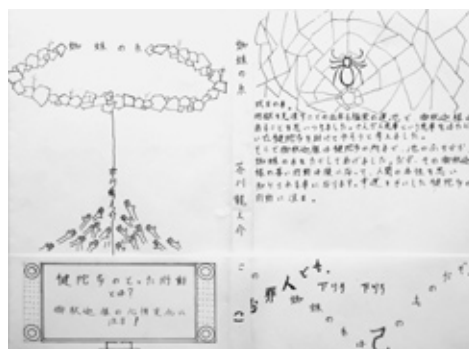
さて先ほどお話しした朗報ですが、それは「ブックカバー制作」です。みなさんはどういうときに本屋さんに行きますか。お目当ての本を買うためですか、それともなにか面白そうな本があるかなとさがしにくいためですか。ぶらりと訪れた本屋さんで、つい手に取った本があまりにも面白くて思わず買ってしまったり、お店の中は本であふれかえっているのに読みたい本が見つからなかったりという経験はありませんか。そんな時に役立つのがブックカバーなのです。ブックカバーというのは本を覆うようにかぶせてあるカバーのことです。そこには本の題名、それにふさわしいイラストやデザイン

が彩り豊かに描かれ、作家名、出版社名、価格などといった情報があります。

この本がどうしたら読んでもらえるか、つまりどうしたら売れるかと考えている出版社の立場からいえば大ベストセラーになってほしいと願っているわけですから、ブックカバーにさまざまな工夫をこらして、一人でも多くの読者を獲得したいわけです。最近ではブックカバーの裾の部分に三分の一くらいの幅で、「帯」と呼ばれているものまで付けて、あの手この手で読者を引きつけようとしています。本屋さんでブックカバーや帯を見て、本を決めたという人もいるのではないのでしょうか。

本の紹介をするにはいろいろな方法がありますが、何百ページにもおよぶ大作の読みどころをいかに短いことばで紹介できるか、これは大変な仕事のように思われます。でもそれだけにやりがいもあると思うのです。自分が薦めたい本を紹介して仲間を増やすには、作家のメッセージをしっかりと受けとめ、それを絶妙な言葉で切り取る、まさにその作業なしでは不可能です。

以下に中等部生が作ったブックカバーと帯を紹介します。これを見て、読んで、みなさんも紹介された本を手にとってもらえればうれしいです。それではどうぞご覧ください。



社 会 科

日本のお札には、さまざまな人物の肖像が描かれていますね。2021年現在、千円札は野口英世、五千円札は樋口一葉、そして一万円札は我が慶應義塾の創始者、福澤諭吉です。それが2024年には、千円札は北里柴三郎、五千円札は津田梅子、一万円札は渋沢栄一にそれぞれ改刷されることが決まっています。

これらのお札は、正式名称を「日本銀行券」といい、その名が示す通り、わが国の中央銀行である日本銀行が発行しています。中央銀行がその国のお札を発行するという制度は、現在日本だけでなく、ほとんど全ての国で確立されています。その中で日本のお札は、丈夫で手触りのよい紙質、繊細なデザイン、微妙な色使い、偽札防止のための細工など、世界各国のお札と比較しても、間違いなく最高水準を持つのです。

また、お札の単位より少額の取引を行うために、「硬貨（日本でいえば五百円玉・百円玉など）」を政府が鑄造するというのも、各国共通の事情です。そして、私たちはふつう、お札と硬貨をひとまとめにして、「お金」と呼んでいるわけです。

さてここで、お金（＝お札＋硬貨）の使われ方について考えてみましょう。みなさんが買物をするときのことを思い浮かべてください。ほとんどの場合、みなさんは、買いたい商品と引き替えに、お金を相手に支払いますね。このように私たちの社会では、ふつうお金と品物とを直接交換するという方法で、売買取引が営まれます。もちろん、日本だけではなく、世界中の国々が、当たり前のようにこの方法を用いて、毎日商品の取引を行っています。

しかし、ほんとうにこの取引方法は、「当たり前」ということばで片付けることができるほど、単純なものなのでしょうか。

私たちが、日常生活において「お金を商品と交換している」ということは、すなわち「お金には、そこに表示されている金額だけの価値が

ある」ということを、私たちが認めていることを意味します。わかりやすくいえば、一万円札一枚は、価格一万円の商品と、対等の価値を持つということです。

しかし、これはよく考えてみると、とても不自然なことです。だって、「一万円札」といったところでしょせんは紙切れ、一枚作るのにかかる原価は、実はたった20円程度なのです。ということは、どんなにその品質が世界最高水準にあろうとも、一万円札そのものの持つ価値は、せいぜい20円＋ α にすぎないということになります。

いっぽう、商品の「一万円」という価格は、その製造原価や企業の利益、それに使い道までをふくめた価値に対して付けられるのがふつうです。

もうおわかりですね。そう、「一万円の商品の売買」とは、「わずか20円の紙切れと一万円の商品との交換」なのです。こう考えると、みなさんは、何だか自分が、毎日とんでもないことをしている（商品を「買う」立場にあるみなさんからすれば、すごい「トク」をしていますよね?）、そんな気になっては来ませんか。「お金と商品の交換」とは、つまりはこういうことなのです。

このように一見不合理な取引方法が、世界中で認められ、日々営まれているのはなぜか。こうした当たり前に見えて実は不思議な社会の仕組みについても、中等部の社会科では、みなさんに少しずつ、お伝えできるのではないかと思います。

数 学 科

何歳ですか？ 誕生日はいつですか？

初めて会った人にいきなりこんな質問をしたら、相手の人は驚いてしまって、きっと教えてくれないでしょう。でも、友達ならきっと教えてくれますよね。では早速……。あ、ちょっと待ってください。せっかくなので当ててみたいと思います。ただし、次の質問に答えてくだ

さい。いきますよ。

「あなたの^{ねんれい}年齢を10倍してください。そこからあなたの担任の先生の年齢の2倍をひいてください。その結果を5倍してください。それに担任の先生の年齢の10倍を加えてください。その結果を2倍するといくつになりましたか。」

どうですか。もし1100となっていたら、あなたは11歳ですね。え、1000になった。だとしたらあなたは10歳です。なぜわかるのか気になる人は、計算の式を書いてください。こんな式になっているはずですよ。

$$\begin{aligned} & \{(11 \times 10 - 32 \times 2) \times 5 + 32 \times 10\} \times 2 \\ & = 1100 \\ & = 11 \times 100 \end{aligned}$$

わかりましたか。

そうそう、年齢といえば誕生日。もう過ぎちゃった？ これから？ プレゼントは何がいいですか。え、教えてくれないの、残念。わかりました。当ててみましょう。ただし、次の質問に答えてください。いいですか。

「あなたの生まれた月を5倍して6をたしてください。それを20倍してから、生まれた日を加えてください。その結果から20をひくといくつになりましたか。」

計算できましたか？ 1123となっていたら、あなたの誕生日は10月23日ですね。本当ならスゴイ。1331となっていたら、12月31日です。201となっていたら1月1日です。これも、計算の式を書いてみると理由がわかるでしょう。10月23日の人ならこんな式になっているはずですよ。



授業風景

$$\begin{aligned} & (10 \times 5 + 6) \times 20 + 23 - 20 \\ & = 1123 \\ & = 1023 + 100 \end{aligned}$$

ところで、クラスに同じ誕生日の人はいますか。調べたことがありますか。クラスの人数が30人では少なくないか思っています。それでは調べてみましょう。

まず、全体で何通りの場合があるかという、1人で365通りあるので30人では、365を30回かけた

$$365 \times 365 \times \cdots \times 365 \times 365 \text{ 通り}$$

です。このうち全員の誕生日が^{ちが}違う場合は、順に日を減らして

$$365 \times 364 \times \cdots \times 337 \times 336 \text{ 通り}$$

です。これは全体を1とすると約0.294になります。^{でんたく}(電卓使ってね。)全員の誕生日が^{ちが}違う場合が約29%だから、同じ人がいる場合は約71%となり、いても不思議はありません。クラスの人数がもっと多ければまず同じ人はいると考えられます。じゃあ、みんなに協力してもらって同じ日の人を探してみましょう。

理 科

入学してすぐの1年生は「顕^{けん}微^び鏡^{きょう}」を1台ずつ与えられ、いくつものサンプルを観察するためにそれを^{そうさ}操作しなければなりません…少し大変に聞こえますか？

しかし、頭で理解したことを指先に伝え、^{すばやく}早く且^{かつ}的確^{てきかく}に顕微鏡を^{あやつ}操^{あやつ}ることにすぐに慣れる中等部生には毎年^{おどろ}驚^{おどろ}かされます。

最初はピントを合わせることもなかなか難しいようですが、そのうちに自由にプレパラートを動かし観察しやすい部分を探し、サンプルに^{びみょう}合わせて視野の明るさも微妙に調節できるようになります。

第1回目には小さな紙片^{しへん}をわたします。そこに自分の名前や絵を描^かいて顕微鏡でのぞいてみるわけです。小さく書いたつもりでも顕微鏡で観てみると、ほとんどが「えー、全部入らないよお」となります。また「鉛筆で書くと跡^{あと}がガ

サガサしてるんだ」「紙もぼこぼこだね」と普段見えないものを見ることで、不思議な感動がいろいろあるようです。この1時間で顕微鏡の世界を感覚でつかみ、操作もスムーズになっていきます。

何回も操作していると「この対物レンズならこのあたりでピントが合うな」とか「これを900倍で見ると視野の真ん中に移動させなくちゃ」と、短時間に観察をすすめるコツをつかんでいきます。

ひとりで1台を操作しなければならないということがお互いのライバル心にも火をつけるようで、「見えました!」「〇〇倍でピントが合いました」「△個見つけました!」などの声が生物室に響きます。そのあとは普段のあどけない表情とは別人のように真剣な顔つきで倍率を変えてはスケッチをとっています。

植物細胞と比較するために動物細胞である「自分の細胞」の観察もします。口の中からホオの内側の粘膜を採取してプレパラートを作ります。自分の体を作っている細胞を観て「これ私なの?」と言って見つめる子、他のともだちと同じなのかどうか確認しあう子、プレパラートを肉眼で見てみようとする子…など、反応も様々です。顕微鏡に慣れれば慣れるほどいろいろなサンプルを観てみたくなる彼らのために、この時期は集中して1か月程生物室での観察を続けます。

緑も多くなるこの時期、都心にある中等部ですが綱町グラウンドには想像以上の植物があります。コロナ禍で顕微鏡を使うことはままならないのですが、秋には三田の大学構内にもおじゃまするなどしてシダ植物や彼岸花の観察などを行っています。いろいろな角度から観察することで広い視野をもてるようになってもらえればと願っています。

美術科

美術科では絵画と造形という大きく分けて2つの分野があります。絵画ではガッシュという不透明な水彩絵の具を使います。ガッシュはプ

口の画家も使う本格的な絵の具です。この絵の具は厚塗りや重ね塗りをすることができて、幅広い表現をすることができます。

一方、造形では陶芸の授業を行います。ここではそれについて詳しく紹介したいと思います。

皆さんは粘土をさわったことがありますか?

さわったことがある人でも素焼きをして絵付け・釉がけをして本焼きまでやったことのある人は少ないと思います。初めて粘土をさわった人も経験者も陶芸の基本から始めます。いろいろな技法を使って器やオブジェなどを作ります。

陶芸の工程は次の通りです。

- ① 成形 ② 加飾
- ③ 素焼き800℃前 ④ 絵付け・釉がけ
- ⑤ 本焼き1200℃～1300℃ ⑥ 完成

成形するのには手びねり（玉作り、ひも作り）板作り、型、ろくろがあります。玉作りとは指先で土を締めて形を作る方法です。ひも作りとは土をひものように伸ばし、1段ずつ積み上げて形をつくっていく方法です。板作りとは「たた板作り」とも呼ばれる作り方でたた板（うすい木の板）の厚さを利用し、のし棒で均一の厚さの土をのばしてつくる方法です。型とは型の上に粘土をかぶせ、その形にそわせる方法や凹の形に粘土を張り込んで整える方法です。ろくろには手ろくろと電動ろくろがあります。

粘土をつかうことは、触覚、視覚を刺激し想像力をかきたて、うまく形が出来なければすぐにやりなおすことができるし、自由な造形が楽しむことができます。また、ただの土であったものから形を作り、うわぐすりがかけられ1200℃～1300℃で焼成され窯から出てきた作品は感動的です。

ここで、陶芸で作品を作った生徒の声をいくつか紹介しましょう。

「粘土を付け足していったら、最初とはまるで違って、巨大なものができてしまいました。」

「お父さんのために、ぐい飲みを作ってあげました。」

「お茶碗ちやわんを作って、家でご飯を食べるのに使っています。」

このように、実際に自分の頭と手をフルに使って自由に作品を作り出す行程こうていそのものに陶芸の楽しさが味わえますし、また、そこで作り出された作品は、世界に一つしかない、自分だけのものとして愛着あいちゃくがわいてくるでしょう。みなさんも中等部の美術の授業で、陶芸をやってみませんか？



保健体育科

体育実技では、中学生の発達段階・能力に合わせた体力形成を目的としています。水泳や持久走など自分に挑戦ちようせんする個人種目もありますが、サッカーやバレーボールなどチームで作戦を立て思い切り声を出して盛り上がり、全員が笑顔で汗を流せる団体種目は、やはり人気です。

保健では健康への意識をより高めていくことを目指しています。教科書以外にも、日頃テレビや新聞で話題になっている健康に関する問題や、現代の風潮ふうちようを話題にして考えていく学習なども行っています。また1年生の授業で「BLS教育」を行っていて、胸骨圧迫きようこつあつぱくやAEDじ どうたいがいしきじょさいどう き（自動体外式除細動器）を体験してもらい、心肺蘇生法しん ばい そ せいほうを学習してもらいます。

ここで、体育実技と保健の授業に関する生徒の声を紹介したいと思います。

サッカーの授業はとても楽しみです。少人数でのミニゲームや、大きいコートを使つての試合など、毎回変化があつて新鮮しんせんです。チームで作戦を立て、真剣しんけんに勝負をします。クラスメイトとの団結力だんけつりよくが生まれ、みんなとより親しくなれるので、笑顔が絶えません。（男子生徒）

体育は、得意・不得意にかかわらず全員が一生懸命いっしょうけんめい取り組んで、メリハリのある授業です。もし不真面目ふまじめだったりすると、厳しく注意をされますが、これはケガなどをしないためにも大切なことだと思います。また、それぞれの種目で得意な人を、クラス全員で認めあえていることも中等部のいいところだと思います。

（男子生徒）

雨の日でグラウンドが使えないときは、大縄おおなわと跳びをします。クラスの記録は先生がメモしておいてくれるので、他のクラスとの対抗心たいこうしんも生まれ、記録をのばそうとしてチームワークが強くなり、技術の向上にもつながります。保健では知っておくと便利なことや日常使える知識などが多く含まれているので、とてもいい勉強になります。授業も先生の体験談じっせん、実演があり、すごく頭に入り理解も深まります。（女子生徒）

「みなさん、卒業までにたくましくなりましょう。」これは体育の先生の言った言葉です。その目標のために授業の前には必ず補強運動ほきよううんどう。しかし、それが終わると先生が丁寧ていねいに指導してくださるので、とても楽しいものになります。持久走のシーズンになると、先生に「君たちのベストはそんなものか？」と言われるので、僕達はまだまだできると思つてがんばろうと、いつのまにか必死になっています。どんな男子生徒でもたくましくなっています。また水泳の授業では先生の指導により、カナヅチを卒業できるようになります。最後に、体育の授業はみんなで楽しみながら自分自身も成長できるととても良い授業です。（男子生徒）

技術・家庭科

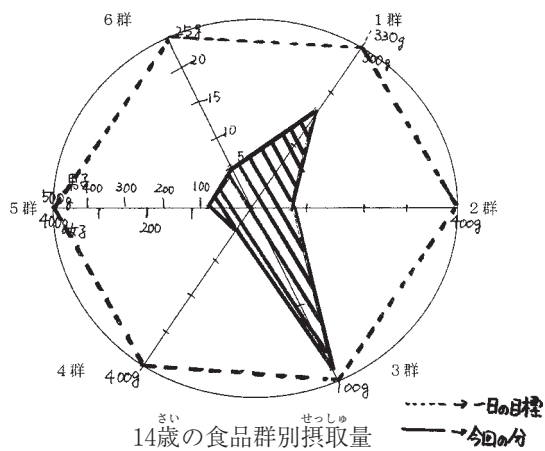
(家庭科)

2年生になると、技術・家庭科の学習が始まります。みなさんのイメージする小学校の家庭科や図工のように、中学でも裁縫や調理実習といった実技を通して、生活に関わる知識と技能を体験していきます。はじめは、たどたどしく、作業をしていた人達も、3年生の最後にはかなりのことが出来るようになっていきます。今回は調理実習でどのようなことを学んでいるのかを紹介しましょう。

まず、2年生の2学期に各栄養素の働きを学びます。小学生の皆さんは、給食の時間に3色の色別に分類された食品のイラストをもとに栄養バランスについて学ぶことがあると思います。朝ごはん抜きや、好き嫌いがなぜいけないのか話を聞くこともあるでしょう。

中学生になると皆さんが考える以上に、食べ方が及ぼす影響は大きいのです。今食べているものが一生の土台となる体を作るのですから。

そして、3年生の1学期になると、今度は実習で作った料理の栄養バランスとカロリー計算を行います。食べる食材だけでなく、何をどれくらい食べるかも今の時代には必要な考え方なのです。以下の図は実習で作った料理の栄養バランスチャートです。点線が一日の目標値に対して、実線が実習分の結果です。



この結果をみた3年生は みな口々に「バランス悪い!!!」「大丈夫?」と心配そうな声をあげます。

考えてもらうのは、これは1食分の結果であるということ。実際には1日つまり3食でバランスをとるよう心がけるには、あと、残りの2食は何を食べればよいかということです。さて、ここからが本題です。

何をどれくらい食べるかは、一人一人違って当然です。決まった答えはありません。大切なのは、意識の問題です。

図のバランスチャートから読み取れることを要約すると、3群の緑黄色野菜は十分に取れている。しかし、その他の野菜や果物は不足している。ゆえに、きゅうりやレタス、たまねぎなどの野菜類やりんごやみかんといった果物を多く食べなければならない。

また、2群の乳製品や海藻類もかなり不足している。などなど考えていき、そこから料理を組み合わせて、献立を立ててもらっています。

3年生の 解答のいくつかを紹介します。

- ・野菜炒めと ひじきの五目煮 ご飯
- ・ミートソースグラタン サラダ
- ・鉄板焼き ご飯 デザート

解答に書かれる料理名は、さまざまです。

彼らには食材の量を意識してもらうため、この授業のまとめとして、夏休みに1日3食の献立を計画し、各料理の食材の量からカロリー計算とバランスを調べるレポートを課題にしています。

この課題は最後に自分で調理をして食べるところまで行います。

このようにして3年生の9月には、食生活を通して、自分の健康管理ができる知識と実技を実体験としてもてるようになっていきます。点数では表すことのできない、一生役に立つ知識と技能をひとつでも多く身に付けられよう積極的に学んでほしいです。

音楽科

「自分で歌を一曲作ってみましょう」といわれて、みなさんの中で自信を持って「はい」とにっこり答える人はなかなかいないかもしれません。

せんね。「えっ、そんな、作曲なんていわれても、作曲家じゃないし、できないよ」と思うかもしれません。実は、中等部では3年生の夏休みに全員が作曲家になるのです。

音楽の特技もないし、得意な楽器もないしなあと心配ですか。たしかに、中等部に入る前から楽器を習っていて音楽が得意という人も中等部生の中にはいます。それでも、どうやって楽譜にしたらいいのか、思いついたメロディをどうやってまとめたらいいのか、歌詞とリズムをどうやって合わせたらいいのか、音楽の得意な人たちのなかでもすんなりできる人はごく少ないのです。みんな悩みながらあれこれ工夫して、友達と共同で作ったり、アドバイスをもらい合いながら作ったり、何週間も苦心しながら作っています。「プロの作曲家ってすごい」としみじみ思う季節です。

さて、出来上がった曲を清書して、夏休み明けに先生に提出しておしまい？ いいえ、それで終わりではありません。ここからまた別の楽しみがはじまるのです。毎年12月に行われる中等部の音楽会では、授業中に練習した曲をクラスごとに発表します。クラスの生徒全員が舞台上に立って、ライトをあびて歌ったり演奏したりするという、中等部生全員で作る音楽会です。その音楽会で、3年生はオリジナルの曲を演奏するのです。

みんなが作った苦勞の結晶の曲を、夏休み明け、2学期の音楽の授業で聴きながら、各クラスで一曲をえらびます。そして、クラスのみんなでその曲に合いそうな楽器を考え、相談し、楽器のパートを作り、曲を練り上げていきます。練習の方法もみんなで考えて、工夫します。どのような曲になるか、クラスのメンバー以外、世界の誰も知らないのです。9月には「クラスの誰か」の曲だったものが、クラスみんなの少しずつの力で、12月の音楽会の舞台では「クラスみんな」の曲になるのです。

ただ、ひとことで「クラスみんな」の曲といっても、そこまでの道は簡単なことや楽しいことばかりではありません。どうやって練習したら

いいか、どんな音にしたらいいか、みんなの意見がばらばらだったりぶつかったり、悩んだり困ったりもします。それだからこそ、みんなでそろって演奏が終わったときの満足は他の曲では味わうことのできないものなのです。なぜって、この音楽会での演奏がその曲の世界初演なのですから。自分たちが大切に3ヶ月間育ててきた大切な曲がホールいっぱいに広がり、1000人以上の人たちの耳に届くのです。たった5分足らずの演奏ですが、その中につまったクラスみんなの思いは何時間あっても語り尽くすことができないでしょう。

歌うこと、楽器を演奏すること、いろいろな曲を聞くこと。音楽の授業ではいろいろなチャレンジをし、さまざまな楽しみ方をさがしていきます。3年生での音楽会のオリジナル曲の演奏は、その全てのまとめかもしれません。人それぞれ、音楽の楽しみ方はバラエティに富んでいます。あっ、こんな楽しみ方もあるのかと、新しいものを中等部で見つけてくれるといいなと思っています。



音 楽 会

英 語 科

中等部では、みなさんに“自律した学習者”になることを期待しています。“自律した学習者”とはどういう学習者を指すのでしょうか。

英語という教科に限らず、学校の授業内だけの学習量では絶対的に不十分です。とりわけ授業で学習した内容を定着させるには、授業外による自律した補助学習が必要と言えます。こ

のとき大切なことは、与えられた教材をこなす受動学習ではなく、自分に適切な教材に自ら手を伸ばし、自分の学習状況を自分で把握できるような能動的な学習を目指すことです。中等部での英語学習指導では、自律学習支援の仕掛けがたくさん用意されています。

その1つの例に e-learning があります。中等部では慶應義塾大学外国語教育研究センターの支援で、各学年で moodle という LMS (learning management system) を利用し、日頃の授業のスライド教材や、ネイティブ教員によって録音された音声教材をアップロードする他、授業の連絡や課題の通知をしています。生徒は授業以外でも moodle を利用し、自律して学習に取り組んでいます。また1・2年生は MyET (FunGo) というオンライン教材を利用しています。FunGo では各自のペースで学習をすすめ、基本例文の音読を通して自然と基本的な英文を定着していきます。インターネットに接続できる環境があれば、世界中どこでも1日24時間、1年365日いつでも利用でき、慢性的なドリル不足が解消されます。何よりも自律学習に不可欠な各自の学習到達度を、教員はもちろんのこと、各自で把握できることが大切です。



2つ目に図書室を利用した自律学習があります。

図書室には様々なレファレンスがあります。どんな研究・学習でも、レファレンスをいかに利用できるかが成功の鍵を握ります。英語学習の場合即英和辞典を思い浮かべると思いますが、紙の辞書と電子辞書を使い分けることや、自分のレベルや目的にあった辞書を選ぶことが大切です。例年1年生1学期の授業内で、英語

辞書の利用法の授業を図書室等で行い、用意したタスク（作業）を個人あるいはグループでこなし、作業を通して、それぞれの辞書の特徴や限界をつかみます。将来高校や大学での図書館のレファレンス活用に繋がることを期待しています。

また中等部図書室では、個人では揃えるには大変困難な、英国の小学校の教科書である Oxford Reading Tree をはじめ Oxford、Cambridge、Macmillan 等の Graded Readers と呼ばれる外国人用の読み物やペーパーバック、絵本等様々なレベルの約3000冊の洋書を、司書教諭の協力もあって揃えることができました。1中学校としては大変な冊数だと言えます。みなさんが中学校英語の教科書を通して学ぶ英語の量は非常に少ないと言えます。そこでお勧めしますのが洋書多読です。多読の特徴は、辞書に頼らず自分のレベルや興味に合わせて、大量に洋書を読むことです。

以上のことは中等部英語教育が目指す、ごくわずかな自律学習のストラテジーです。1年生のはじめから、学習の質量さらに効率を上げるために、各学習者が自律した学習環境を自分でしっかり創造していくことを大切にしていたきたいです。

HR

中等部では毎朝の HR はありません。その日の授業がすべて終わった後にも HR はありません。火曜日の4時限目と土曜日に HR があるのみです。回数は少ないですが、忙しい中等部生活に欠かせない大切な伝達事項が満載です。週2回の HR で学校生活が円滑に送れるように、つねに先のことを意識して伝達事項が伝えられます。

また学校生活をよりよくしていくための活動とそのために必要な意見交換についても中等部生と担任が協力して行っています。

中等部では年間にたくさんの行事があり、それらを動かすために各クラスから立候補で旅行委員、校内大会委員、運動会委員などが選ばれ

ます。行事を運営するには、中等部生全員が知っておくべきこと、やるべきことを共有することが大切です。しっかりとした計画を立て、実行していけるように、教員のサポートのもとで、各委員が丁寧に情報を発信しています。HRでは中等部生が自分のスケジュール帳に予定や要点をメモしている姿も印象的です。こうした取り組みを続けることで、中等部で過ごす三年間のうちに自然とスケジュール管理の大切さを学んでいきます。

中等部のHRは、生徒からのいろいろなお話を担任が聞かせてもらう場でもあります。クラスの様子や中等部生活において改善されるといいなと考えていることを共有し、意見交換や相談をしながらクラスのつながりを深めていきます。また、一ヶ月に数回程度行われる席替えのくじ引きは、みんなが楽しみにしているHRの一大イベントで、大いにもりあがります。

中等部で過ごす3年の間にはさまざまな出来事が起きます。一つひとつは自分とは関係のない出来事かもしれませんが、これらを自分の出来事のように受け止め、考えてもらえるようにHRで呼びかけていきます。こうした取り組みが、学校生活において個人あるいは集団の一人として生活していくためのバランスのとれた考え方になることにしだいに気づいていくのです。

中等部で生活していくために、知っておくべきことを共有し、今取り組むべき課題を確認し合い、そして実行する。自ら行動して、たとえ失敗したとしても素直に訂正できるような柔軟な心があれば、周囲もそれを受け入れる寛容さをもって、その人を手助けしてくれるでしょう。理想の中等部生になれるようにと願って担任はHRで呼びかけています。

図書室

中等部の図書室にあって、他の学校の図書室にないもの。それは何だと思いますか？

答えは、福澤諭吉先生の展示資料です。中等部の図書室に入ると、すぐ目に飛び込んでくるガラス張りの展示ケース。その中には、福澤先生直筆の書簡、学問のすすめ冒頭部の版木や先生の著作の初版本などが収められています。



また、福澤先生関連の本も、一つのコーナーを設けて並べられています。これも、特徴と言えるでしょう。



学級日誌

日誌担任 検印	Maeeda	この週末、少しは勉強、ずんたかな？ 集中して!! 頑張れ!!
5月10日	曜日	No.23
時間	教科	担当
1	美術	夏目さん
2	美術	夏目さん
3	英①	前田さん
4	数I	大澤さん
5	社I	足立さん
6	習字	前北さん 井澤さん
次	なし	中間の勉強のスケジュールは立てたが、意外と時間がないことに気が付いた。美術のスケッチはたす。2つ、旧図書7
席	なし	構図とりにいれよう。でもいじりすぎると面白くないから!!
定	なし	
早	なし	
退		
当		
番		

どの図書室でも、不思議なことに“独特の香り”^{かお}がするものです。それは何もにおいとして感じられるものだけではありません。中等部の図書室には、福澤先生の展示や資料があるおかげで、慶應義塾の文化の香りがあるのです。

さて、中等部図書室を語る上で欠かせないものを二つご紹介^{しょうかい}したいと思います。まずは、「読書のすすめ」です。これは、中等部の教員が、中等部生にすすめる本を解説した冊子^{さつし}で、新入生に配布されます。名作がずらっと紹介されていて、これを読むだけでも勉強になります。次に、「リーディング・メモ」です。これは、中等部三年間をかけて読んだ本を記録していくノートです。中学生時代に読んだ本の思い出はかけがえのないもの。がんばって読んでいる人は2冊、3冊と増やしていきます。

まだまだ語りたいことはあるのですが、図書室の魅力^{みりょく}についてここで全ては語り尽くせません。あとはみなさん自身の目で確かめてください。新学期に中等部図書室で会えるのを心待ちにしています。

保健室

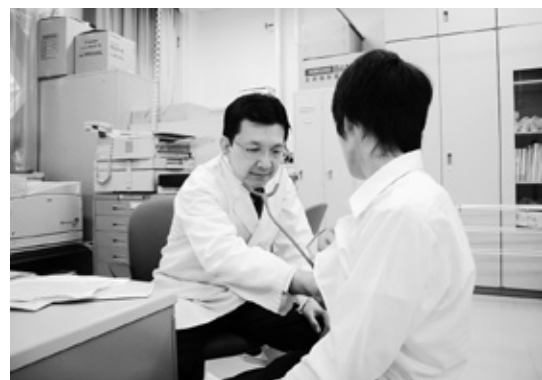
中等部の保健室は、慶應義塾の小学生から大学生の健康管理をしている保健管理センターの分室のひとつとして機能し、各分室と連携^{れんけい}をとりあい、慶應義塾の一貫教育校^{いつかん}ならではの健康管理を行っています。例えば、慶應独自の「健康手帳」や「健康のすすめ」という小冊子^{さつし}を配布し、みなさんの健康状態について家庭と情報交換を行っています。健康診断では、法律で定められた項目^{こうもく}の他に、希望者には血液検査^{けつろうけんさ}をし、生活習慣病^{しんくわんびつ}の予防、学校感染症^{しやうかんせん}の予防、貧血^{ひんけつ}の早期発見など病気予防への積極的な対応を行っています。

保健室には、ほぼ毎日、学校医が在室し、みなさんの健康管理や健康相談、発熱や外傷などの救急診療^{しんりやう}にあたっています。必要に応じて、慶應義塾大学病院をはじめとした医療^{いりやう}

機関へ診療^{いらい}を依頼することもあります。

その他、中等部では、成長期のスポーツ障害予防の積極的な取り組みとして、スポーツ医学相談、スポーツメディカルチェック^{じっしゅ}を実施^ししています。スポーツ医学相談では、慶應義塾大学病院の整形外科スポーツドクターが来室し、整形外科的な問題について相談を行っています。スポーツメディカルチェックでは、スポーツと関連する循環器系^{じゆんかんき}の内科的な問題を中心とした検診^{けんしん}を行います。その他みなさんが安全にスポーツ活動を行っていただけるように、毎年、熱中症^{ねつちゆうしやう}の予防、スポーツ傷害予防などの講演会も開いています。また、無理なダイエットで健康を害することがないようにウエイトコントロールについても講演会を行っています。

中学生は、勉強の内容も増え、部活動や交友関係も活発になり、生活行動範囲^{はんい}の広がる時期です。身体の成長^{いぢじう}が著しく、また、精神的にも不安定になりやすい時期です。このような時期には、いろいろなことで悩みが多くなるものですが、お友だちや担任の先生などのほかにも、保健師、カウンセラー、学校医（小児科医）など、保健室にも相談できるひとがたくさんいますので、気軽に話しに来てくださいね。



スポーツメディカルチェック

同窓会活動

11月に行われる展覧会に40歳を迎えた人たちが中等部に集まります。中等部「卒業25周年式典」に参加する、中等部の卒業生です。毎年参加者が、「人生の中で中等部時代が一番楽しかった」と感慨深げに語る姿がみられます。中等部を卒業して25年、不惑と呼ばれる卒業生は様々な分野で活躍しています。中には、社会的にも著名な方もいます。しかし、この日は中学生に戻って、級友やクラス担任と楽しく話の輪の中に加わっています。自由で明るい中等部の校風が20年以上の年を経ても色あせていない表れといえるでしょう。

同じく展覧会の会場には、同窓会の展示教室が設けられています。中等部の歴史やOB・OGの活躍と中等部時代の思い出などを展示し、同窓生ばかりでなく、中等部生徒や一般の来場者にも同窓会活動の紹介をしています。中等部生にとっては、先輩たちの言葉が将来の人生設計に大いに役立っているようです。

慶應義塾中等部同窓会は、「慶應義塾中等部卒業生の連絡をはかり会員相互の親睦を厚くし、自由な中等部気風の継承と高揚をはかること」を目的として、1964（昭和39）年に正式に発足しました。具体的な活動内容は次の通りです。

- (1) 塾風の伝承に関する援助
- (2) 1回生からの全同窓生が集う
「同窓会の日」の開催
- (3) 会員名簿の管理、特選塾員の推薦
- (4) クラス会、同期会への援助
- (5) 慶應義塾中等部同窓会奨学金制度
(名称・中等部ひまわり奨学金)
- (6) その他本会の目的に添う事業
 - ・大学3年生の同窓会員を対象とした個別企業セミナーの開催
 - ・会報「中等部ジャーナル」の発行
 - ・中等部卒業5周年・15周年同期会及び

25周年・50周年記念式典・懇親会の開催
支援

- ・展覧会での展示
- ・中等部生対象の同窓会員による講演会
(名称・キャリア講座、環境講座、特別授業、同窓会機構の説明)
- ・各卒業回生の代表が参加して活動内容を討議・決定する、常任委員会（年8回程度）、代議員総会（年1回）の開催

こうした諸活動以外にも、校友会（クラブ）活動を軸に、OB・OG会の開催や、卒業生コーチによる指導も活発に行なわれています。

慶應義塾には、福澤先生のおっしゃった「社中」という言葉があります。学生・生徒、保護者、教職員、そして卒業生、慶應義塾と係わりのある全ての人々が、まるで家族のように協力し慈しみあう、という意味です。

卒業生同士の交流に留まらず、現役生徒対象の奨学金制度や講演会、展覧会での展示などの幅広い活動をしている中等部同窓会は、まさに「社中」の象徴といえるでしょう。中等部で培った人々のふれあいはその3年間で終わるのではなく、中等部同窓会という組織を通して、卒業後も続いていくのです。

中等部生活を土台とした、良き友人関係を卒業後も大切に育み、さらに世代を超えた幅広い交流が行なわれているといえるでしょう。



「同窓会の日」の様子

新しい出会い

一年男子

「やった」あの日は僕は報われた。三年間、多くの時間を費やして対策してきた中等部に合格したのだ。そんな中等部に入学してから印象に残ったことをつづりたい。

まず最初におどろいたのは、中等部には校則がないということだ。数学の先生が言うには、「愚民の上に苛き政府あれば、良民の上には良き政府あるの理なり」という考え方に基づいているらしい。他にも、ある特定の行事以外は服装が決められていないなどと色々自由な面がある。しかし、自由であるからといって何でもいいのかというわけではなく、国語の授業の『字問ノススメ』で習ったように、「互に人の妨げをなさずして」というのを意識しようと思った。

次におどろいたのは、成績が絶対評価であることだ。今まで塾などでは他人との競争であったのだが、中等部は人との比較ではないのだ。そのため、勉強で分らないことがあったら教え合っていて、みんなで協力するという精神が根付いているところが、すごく良いと思った。

中等部に入学し、良い先生、良い同級生、様々な人たちと出会うことができた。これからも、学問をおこたることなく、頑張っていきたい。

自由って大変

一年女子

「明日から何を着て行こう。」

入学から二週間がたち、明日から服装は自由と言われた。この「自由」という言葉が問題だ。私は、先輩の服装を見たり、クラスメイトに話を聞いたり、そして家で母にも相談をした。結局、基準服のブラウス、スカートにカーディガン、スニーカーをプラスした。それでも心配で、基準服の上着をかばんに入れて持って行った。

学校に着いて思ったのは、どれも間違いではないということ。それでもみんなきつと、私のように沢山考えて自分で決めた、自分なりの自由な服装だ。次の日も、またその次の日も考えた。そして、気がついた。

「自由って大変！」

同時に、決められているのは楽だと感じた。今までは、学校のルール、先生の指示に従って学校生活を過ごしてきたが、これからはもつと自分で考えなければいけない場面が多そうだった。その中で大切なのは、学校と自分、周りの人達と自分という関係の中でバランスを考え、自由を楽しんでも、決してワガママになつてはいけないということ。私だけでなく、一人一人がこんな風に考えているからこそ、中等部は常に楽しい学校なのだろうと思う。

昨年度、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、今も終息していません。もちろん、中等部の学校生活も大きな影響を受けています。検温やマスクの着用、手洗い、消毒が必須となった学校生活には違和感がありましたが、それにも少しずつ慣れて中等部らしい雰囲気が戻りつつあります。さて、今回は「感」をテーマに作文を募集しました。感染症を意識して設定したテーマですが、一人一人が新しい日常に感じたところを書いてもらおうという意図もありました。その中から、男女各一編を紹介します。

小さな発見 1年男子

家には、花瓶に飾られた正月飾りの葉ボタンがある。他の正月飾りとは違って、4月のある日依然として生き生きとしているのに軽く疑問を抱き、花瓶から葉ボタンを引きぬいてみた。すると、切り花なのに茎の先から根が出ていた。その時、葉ボタンの生きぬこうとするたくましさに感動を覚えた。

普通、正月飾りは、正月を過ぎたらどんどん枯れてしまう。しかし、この葉ボタンは根を生やして何ヶ月も力強く生きている。これは、コロナウイルスの影響で、中等部が休みの期間だったからこそ発見できたことだ。もし、コロナウイルスがおらず、4月から中等部での新生活が始まりを迎えていて勉強や校友会活動が予定通り進んでいたら、葉ボタンに気を留めることもなく、この感動にも出会うことができなかったかもしれない。

葉ボタンは、後日庭に植えかえた。地面でも元気に成長し、通常の葉ボタンはその名の通り牡丹の花のように葉が密集して丸っこいフォルムだが、家の葉ボタンは茎の部分がニョキニョキと縦に伸びていき、そのためか葉と葉の距離が比較的空いている。それを見ると、最近よく耳にする「『密』をさける」のようにも思えるので面白い。そして、新生活がうまく始まらないことや勉強のやりくりが上手にできないことなど色々なことで落ちこむ自分を上へ上へと伸びようとする姿ではげましてくれた。

この頃、コロナウイルスによる悲しい出来事がたくさんあったが、それによって家にいる時間が多くなり、僕は葉ボタンに目を向けられるようになった。このように小さなことにも関心を向けられる時間が増えるという良い面もあったと思う。

人間らしく 1年女子

普段何気なく過ごしている日々にも、たくさんの発見がまっている。それをみつけるたびに、笑ったり驚いたりするだろう。もちろん旅行をして未知のものに出会う時も。発見はいつだって自分の心を刺激してくれる。だから、ものに何かを感じて、それを表現できるということは、人生にうるおいを与えてくれる大切なものだと思う。人間として生まれて得た「感性」を私は大事にしたいと思っている。

現代の世界では、様々な機械が活躍し、私たちの生活に必要不可欠なものとなってきている。なかでも人工知能は人間よりも高い頭脳を持っていて、計算のスピードは人間と比べものにならない程はやく、すぐれた分析力を持ち合わせている。人工知能を開発したのは人間だが、とてもおそろしいものである。

しかし人工知能には「感性」というものがない。

物語に出て来る主人公の気持ちを答えるような読解問題は、文章を分析することで答えを出すことが出来るかもしれないし、文章に対する感想文を書くことも出来るかもしれないが、主人公の気持ちに本質的に寄り添ってあげることは出来ないし、あくまで「模範解答」のようなものにすぎないと思う。解析を得意とする機械にとっては無駄なことかもしれないが、「感性」を持つ私達人間は思い思いの感情を抱くことが非常に大切なのだと思う。人間は機械とは違う。

まだ未熟で、経験も大人と比べて乏しく、これから先ものの見方は変わっていくかもしれない。そのために学び、知識の幅を広げている最中だが、ただ単に機械のごとく学ぶのではなく、「感性」をも育てながら学んでいきたいと思う。「感性」という名の芽を成長させ、人間らしく生きていくために。

刊 行 物

中等部には、数多くの刊行物があります。その代表が『年鑑』で、テーマによる生徒の作文を柱に、生徒の作品や校友会活動報告とその研究発表、生徒会活動や学事記録を載せています。その他に、図書委員会の編集による『読書のすすめ』、『図書室案内』や、生徒と教員が協力して発行するニュース、まったく生徒主体のニュースなどがあります。

(1) 第104号
慶應義塾中等部ニュース
令和2年11月7日

主 張

新型コロナウイルスの影響で世界は一変した。ソーシャルディスタンスを確保する必要がある。マスクの着用は必須である。同時に、海外へ旅行もできない。今のコロナ禍は、大変である。この一つ一つのオンラインを使い、仕事を始める。やり方が変わる。今まで一部の重層や学校のみでしか行われていなかったが、外出自粛を促す中で、

「変わりゆく世界」

編纂委員会 キヤブチン
三 A O O O O

中等部SDGs宣言へ!

KEIO CHUTOBU ×

このたび、中等部の井上進氏より、「中等部SDGs宣言」が出されたことになった。SDGs(Sustainable Development Goals)とは、私たちの生きる世界・社会が持続的なものとなるには何をすべきかをまとめた国際的な目標であり、2015年の国連サミットで採択され、国際連合加盟国が2030年までの達成を目標として掲げているものである。SDGsは、SDGが17あるが、その中で、中等部でも取り組んでいる。その一つが、SDG13「気候変動」である。気候変動は、地球の気温が上昇し、自然災害が増える。SDG13は、気候変動を抑制し、持続可能な社会を実現することを目指す。中等部でも、SDG13に取り組んでいる。その一つが、SDG13「気候変動」である。気候変動は、地球の気温が上昇し、自然災害が増える。SDG13は、気候変動を抑制し、持続可能な社会を実現することを目指す。中等部でも、SDG13に取り組んでいる。

図 書 室 ニ ュ ース

2021. 3. 16
慶 應 義 塾 中 等 部
第 269 号

— 本 の 紹 介 —

『大量廃棄社会 アパレルとコンビニの不都合な事実』 仲村和代・藤田さつき 著

昨年11月17日に中等部井上部長が「SDGs宣言」を行ったことは周知のとおりです。現在2年生(73回生)がHRの時間を使い、継続的にSDGsについて学習をしています。展覧会の学年の部屋でもその学習の成果が発表されています。今回は今の社会の取り組み課題である「SDGs」に関する本の紹介をします。

まずは、SDGsの復習をしてから本題に入りましょう。「SDGs: Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標」。2015年9月国連総会において採択された「われわれの世界を変革する: 持続可能な開発のための2030年アジェンダ」つまり、2030年までに17の目標と169のターゲットについて取り組みよう!というものです。SDGsのキーワードは「No one will be left behind (誰一人取り残さない)」明確な数値目標を定めた結果を求めている取り組みです。

さて本題に入ります。「大量廃棄社会」この本の出版は、NHKキャスター国谷裕子氏が「SDGsプロジェクト」に取り組んだことがきっかけです。プロジェクト参加メンバーとして朝日新聞の女性記者2名が加わり、2017年からテーマ取材を始め動画配信してレポート。それを本としてまとめたものです。内容は3部構成になっており、各部のテーマは以下のとおりです。

- 第一部 アパレル 捨てることになってたたくさん作った方が儲かる
- 第二部 食品業界 恵方巻 大量廃棄の背景 デジタル食品?
- 第三部 消費者 自分のお金を何にどれだけ使う? 買うことは 社会活動の意思表示

この本の特徴は、なんといってもプロの新聞記者が、「大量廃棄問題」の個々のテーマについて、足を棒にしてコソコソと取材を進めていく様子が克明に描写されている点です。私が担当している家庭科でも環境テーマ学習を取り扱います。なので、この本を読むと私たちが文献やネットから知りえる情報は想像を超える取材の結果の上に成り立っているのだと痛感させられます。以下にその取材の一部を紹介します。

第1部では、服を売るためには売れ残りの服を捨て

なければ売れないという大量廃棄を前提とした社会構造に問題提議を投げかけている。売れ残りの服を値下げしたりすると商品価値が下がるという理由で、高級ブランド服は、値下げをせずに焼却処分しているという事実も突き止め、さらに日本国内の年間供給量は2017年度で38億点。そのうちの概算で10億点が袖を通さずに捨てられている。つまり、生産される服の4分の1は捨てるために作られている。ありえない量の「廃棄を前提」とした大量生産、大量消費ビジネスモデルの現状を浮き彫りにしている。

第3部では、この大量廃棄の問題に立ち向かう取り組みとして、『メルカリ』CEOの取材をしている。『メルカリ』は「限られた資源を分かち合う」を理念に戦前の日本の価値観の復活を目指して成功。捨てるなら少しでもお金に。CEOの「中古品として価値のある服を作る社会構造へのきっかけ作りになる。」という言葉は重みがあり、確実に私たちの消費スタイルや中古品の考え方を目に見える形で変えている。また、服の製造工程が目に見える形で消費者に伝える「透明なパンツ」を開発した当時SPCの学生で学生企業を立ち上げた「ワンノバ」の取り組みも取り上げている。「透明なパンツ?」と思った方はぜひこの本を読んでもらいたい。

最後にこの本で投げかけている問いを10年前にすでに鋭い視点で指摘したウルグアイのムヒカ元大統領のスピーチを紹介しします。2012年6月のリオ+20地球サミットにて脚光を浴びた名スピーチの一部です。

「常軌を逸した消費は世界を破壊しており、高価な商品やライフスタイルが人々の人生を破壊させているのです。社会は消費という歯車によって回っており我々はひたすら早くそして大量の消費を求められています。もしも消費がストップストップするならば経済が麻痺してそうすれば不況の魔物が我々の前に現れるのです。

根本的な問題は私たちが実行した社会モデルなのです。改めて見直さなければならないのは私たちの生活スタイルということです。……発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。環境のために戦うのであれば人類の幸福こそが環境への一番大切な要素であることを覚えておかなくてはなりません。」

(田中綾子)



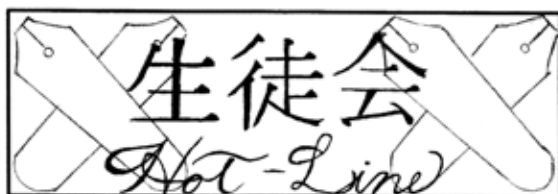
中継での授業の様子

木 仏 金 仏

私は、編み物や縫い物、木工など、いろいろなことをしています。その中でも、特に好きなのは、木工です。木工は、木を削って、いろいろな形にすることが出来ます。私は、木工を通して、木を大切にする心を育てています。また、木工は、自分の手で、何かを作ることが出来ます。それは、とても楽しいことです。私は、木工を通して、自分の力を伸ばしていきたいです。

「中等部ニュース」(上)は、校友会の1つである報道研究会が発行するもので、報道研究会部長の指導のもと、企画・取材・記事作成など生徒が行っています。学校行事をはじめ中等部の出来事など幅広い内容になっています。

「図書室ニュース」(左)は、主に新刊の紹介、生徒感想文を中心に載せており、生徒の読書への関心を高めるのに役立っています。



第7号 1月23日

こんにちは！生徒会報道局です。今回は1月26日(火)に行われるユニセフ募金についてのお知らせです。

<ユニセフ募金について>

今日、世界中の人々を苦しめている新型コロナウイルス。そして、この世界的な流行は、手を洗う設備が家に無い人々、貧困に苦しむ人々などに、より深刻な影響を与えています。この危機をみんなで乗り越えるために、募金のご協力をお願いいたします。また、中等部も宣言しているSDGsが目指す、「誰一人取り残さない」世界の実現のために、世界の子供たちに必要なこと、自分にとって

<募金方法>

1月26日のHRで、生徒会局員が募金箱を持参し、少しでも多くのご協力をお願いします！

今回も素敵な題字デザインをありがとうございます！ではまた次号でお会いしましょう！

生徒会の広報活動は活発で、刊行物としては機関誌である「生徒会ニュース」(右)と、速報性のある「生徒会 Hot Line」(上)があります。「生徒会ニュース」は生徒会と生徒の架け橋としての役目を果たしており、学校行事の報告も行っています。「生徒会 Hot Line」では委員会の動きや校友会の活動結果などがより早く生徒に伝えられています。

生徒の自治組織である生徒会は、生徒全員によって組織されています。その中心は各クラスから選出された委員によって構成される生徒会委員会で、生徒全体の自治意識を高めることを目的にして活動しています。生徒全体に関する問題の議題がでると、生徒会委員会で話し合い、それを各クラスで討論し、その結果を委員会で話し合っています。

2021. 3. 16

1

第273号

生徒会ニュース

慶應義塾中等部生徒会



☆はじめに

皆さんこんにちは！暖かい日も増えて来ましたね。中等部ではだんだんと卒業の日が近づいてきて、少し寂しい思いをしている人も少なくないと思います。また、4月からは新入生も入ってくるので、お手本になれるよう頑張っていきましょう。一生懸命作ったので楽しく読んでください。



今号の内容

- P.1 はじめに
新生徒会事務局について
- P.2 〈特集〉
委員長VS委員長(対談)
- P.4 新スタッフ各局意気込み
- P.5 ユニセフ募金について(校外局)
- P.6 プロジェクトC(中等部)
リモートで活動せよ！(座談会)
- P.7 総務という仕事
- P.8 無任所から
副委員長の独り言
- p.10 92ナイスクイズについて



☆新生徒会事務局について

生徒会事務局が次の代へと引き継がれ、我々72回生の生徒会事務局も旧事務局となります。新しい生徒会事務局が私達の代よりも、より良く、より楽しい中等部にしていくことを願っています。

今回、生徒会事務局の人事が変わったということで、新たに生徒会副委員長、各局チーフになった方々に意気込みを書いてもらいました。生徒会委員長には対談をしてもらいました。生徒会の運営は大変だと思いますが、頑張っていって欲しいです。



2020年度生徒会スタッフ

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として自^{みず}から甘んずるを得ず。

其^{その}目的は我日本国中に於^おける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、

之^{これ}を實際にしては居家、处世、立国の本旨^{あきらか}を明にして、

之を口に言ふのみにあらず、躬行^{きゅうこう}実践^{もつ}以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤諭吉

創立者福澤諭吉の慶應義塾に込めた思い、教育こそが社会変革^{こんかん}の根幹であるとの確信はこの一文に込められている。人々の意識や習慣を変え、さらにはそれを基^{もと}に社会を改善する力が学問にあると考え、それをまず自らが「先導者」として実践し、多くの卒業生が彼に続いた。近現代の日本の歴史の重大な場面に、慶應義塾の卒業生の姿があったことは偶然ではない。

とりわけ福澤諭吉が教育の成果として強調したのが「気品」。これは外見や言葉遣い^{づか}のことではなく、自然とにじみ出る人格の高潔さ、人間の大きさのこと。その中には、社会が直面する困難な課題を進んで発見し、その解決に率先してコミットしていく精神^{きゅうこう}も含まれる。「躬行実践」とは、口先だけでなく、自から実際に行うことを意味する。そういった精神と行動力を持った人を「先導者」と呼んで育てようとしたのである。

義塾

義塾とは、義^{えん}捐金で運営される公共の学塾のこと。義とは“社会公共のため”“協力して事業を行う”との意味を持つ。したがって慶應義塾を今の言葉にすれば“慶應共立学校”となる。義塾は英国の「public school」の訳語とも推定される。福澤個人の私塾でもなく、国家や藩からも独立して、権力から独立した公にされた存在として誰もが参加できる、協同で運営されるソサエティという意味が込められている。1868（慶応4）年4月、「創立の年号に取て仮に」慶應をつけたと言われ、その仮の名が今に至るのは、義塾の大らかさを表していよう。

独立自尊

慶應義塾の教育理念が要約された言葉。なにもものにも屈せず、誰にもおごらず、権威や習慣、常識なるものに囚われず、ただ己^{おのれ}の良識と信念に照らし合わせて考え行動する。こうした態度を身につけることを学問することの目的とした。そこでは同時に、一人一人の成熟によって、個人の意識や習慣を変えることで、社会を改善することが目指されている。福澤は「一身独立して一国独立す」とも表現した。近代国家の確立は個人の自立と切っても切れない関係にあると考えていたのである。

実学

福澤諭吉が提唱した学問は「実学」と総称される。これは単なる実用の学、実用知識や技術を意味するものではない。福澤は実学に、わざわざ「サイヤンス」とふりがなをつけている場合もあり、実学は実証科学としての学問を指していた。平たくは、実学とは科学する心のこと。自立した個人のありようと、科学的にもの事を考えられる判断力と問題解決力を養うことは一体化して考えられていた。また、学問のための学問ではなく、物の理にそった思考と行動様式を日常生活に浸透させることを含んだ言葉ともいえる。社会改良・生活改善のための学問、それが「実学」の意味である。

半学半教

学業の進んだ者が他の者を教え、同時にさらに上級の者に学ぶという仕組み。幕末期に福澤諭吉が始めた蘭学塾では、教える者と学ぶ者の分を定めず、それぞれの分野で一日の長のある者が教える、相互に教え合い学び合う仕組み、すなわち「半学半教」の教育形態を実践していた。これは義塾の草創期に師弟共に未知の新分野に挑戦する中ではぐくまれたものだが、後進の世代に対して、学問は究めるほど奥が深く、教員も学生も生涯学び続けなければならないというメッセージともなっている。慶應義塾では、学問に対する志を同じくする者が、ある時は教え、またある時は学び、協同で塾を維持運営するという草創期の精神は今も受け継がれている。

自我作古

「我^{われ}より古^{いにしへ}を作^なす」と訓み、前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐^たえて開拓に当たるといふ、勇気と使命感を表した言葉。出典は中国の『宋史』。現在の言葉で平たく言えばチャレンジ精神。草創期の先進塾生たちが、西洋文明をいち早くとりいれて、日本の近代化に貢献^{こうけん}せんとしたその雄々^がしき気概^{がい}を示す一種のモットーの如くに使われている。日本の近代化において、鉄道、電気、ガス、水道、保険、新聞などの分野で事業をリードしてきた慶應義塾の卒業生は、身をもってこの言葉を実践した。

社中協力

慶應義塾は学問という志を同じくするものの結社である。そう表されるほど、学生と教員、また卒業生同士のつながりは強い。「社中」とは、学生・教職員、卒業生などすべての義塾関係者の総称。目的と使命感を共有する者のあつまりという意味がある。義塾の運営を経済的に支えている維持会（1901（明治34）年創設）のほか、卒業生約三十万人が何らかの形で所属する三田会は、職場や地域で組織され、日本だけでなく、世界中で合わせて約860を数える。

慶應義塾の歴史

1853 ペリー浦賀に来航

1854 日米和親条約

1858 福澤諭吉、蘭学塾を創始

江戸築地鉄砲洲の中津藩奥平家の邸内に福澤が開いた蘭学塾が慶應義塾の原点です。現在、中央区明石町の同地には、慶應義塾発祥之地記念碑が建てられています。

1863 英学塾に転向

1868 慶應義塾と命名

三度にわたる欧米視察で、英語、経済学など新しい教育の必要を痛感した福澤は、1868（慶応4）年、藩や国家などから独立した近代教育の先駆となる学塾として整備。それまで名前のなかった塾を時の元号に因み、慶應義塾と命名しました。

1874 幼稚舎発足

1871（明治4）年、義塾は現在の三田に移転。1874（明治7）年1月には義塾内で和田義郎による塾が開かれ、のち幼稚舎と呼ばれるようになりました。

1889 大日本帝国憲法の発布

1890 大学部発足

福澤は義塾をゆくゆくはユニバーシティにしたいとの構想を持っていましたが、1890（明治23）年、3人の主任教師をハーバード大学などから招くことによって、待望の大学部（文学科、理財科、法律科）を設置。1920（大正9）年大学令公布によって義塾は法令に基づいた大学となり、その際自然科学系統の医学部を加え、私学初の総合大学となりました。

1894 日清戦争勃発

1898 一貫教育の完成（普通部発足）

義塾は3年制の大学部と7年制の普通部からなる組織でしたが、1898（明治31）年、これが5年制の大学部、5年制の普通部（中等教育）、6年制の幼稚舎（初等教育）からなる一貫した組織に改編されました。幼稚舎からは16年、普通部からは10年という今日と同じ一貫教育が確立したのはこの時です。

1899 私学初の留学生派遣

大学部開設当初の問題は、教授の確保にありました。名実ともに学問の府となるためには、塾出身の大学教授を育てる必要がある、そう考えた福澤は、1899（明治32）年、大学部の卒業生数名を欧米の大学に留学させました。これが私学初の留学生派遣です。彼らが帰国し、大学部の教授陣に加わり、その人々に教わった学生がまた教授となる半学半教の義塾の伝統は、この留学生制度で新たな成果を生みしました。

1901 福澤諭吉没する

1904 日露戦争勃発

1906 大学院設置

学部卒業後のさらに高度な教育・研究を望む気運が塾内に高まったことから、慶應義塾は1906（明治39）年に大学院を設置しました。これが現在の新制の大学院になったのは1951（昭和26）年です。

1914 第一次世界大戦勃発

1917 医学教育の出発

1920 文・経・法・医からなる総合大学となる

1923 関東大震災

1934 日吉キャンパス開設

関東大震災の復旧が一段落した頃から、校地の拡大による環境整備が検討され始めました。1928（昭和3）年から1934（昭和9）年にかけて日吉台に13万坪の敷地を確保し、第一校舎と体育施設が竣工。大学予科の移転をもって日吉キャンパスが開設されました。

1939 第二次世界大戦勃発

太平洋戦争開戦

1944 藤原工業大学が寄付され工学部となる



- 1945 広島・長崎に原爆投下
- 1946 日本国憲法公布
- 1947 **男女共学を実施（中等部・女子高等学校の設立）**
『学問のすゝめ』の冒頭で平等の思想を説いた福澤は、数多くの著作を
ととして女子教育の必要を訴え、また女子教育機関の設置を試みました。
戦後の教育基本法の制定により男女共学が実現し、義塾ではまず中等部
を設立、幼稚舎を男女共学としました。続いて1950（昭和25）年に女子
高等学校を設立して女子教育を始めました。また大学はこれに先立ち、
1946（昭和21）年から女子学生の入学を認めました。
- 1948 **高等学校発足**
前身である第一高等学校・第二高等学校が発足。翌1949（昭和24）年に
両校を統合して慶應義塾高等学校と改称しました。
- 1957 **商学部開設**
- 1957 **志木高等学校発足**
1948（昭和23）年に設置された慶應義塾農業高等学校から広大なキャンパスを引き継ぎ、普通高等学校とな
りました。
- 1962 **ビジネス・スクール発足**
- 1964 東京オリンピック
- 1970 日本万国博覧会
- 1972 札幌オリンピック
- 1981 **工学部を理工学部へ改組**
- 1990 **海外での教育を開始（ニューヨーク学院設立）**
日米それぞれの教育の良さをあわせ学んだ国際人の養成を目的に、1990（平成2）年、義塾は米国にニュー
ヨーク学院（高等部）を開設。慶應義塾の海外での教育・研究の拠点として、その第一歩を記しました。
- 1990 **湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設**
- 1990 東西ドイツ統一
- 1992 **湘南藤沢中等部・高等部開校**
生徒の能力と個性の伸張を継続的・発展的に図ることを目的に中学・
高等学校を統合した6年間一貫教育を目指して開校しました。
- 1993 ヨーロッパで欧州連合（EU）が発足
- 1995 阪神・淡路大震災
- 1998 長野オリンピック
- 2001 **看護医療学部開設**
2001 アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2004 大学院法務研究科（法科大学院）開設
- 2005 大学院健康マネジメント研究科開設
- 2008 創立150年を迎える
- 2008 共立薬科大学との合併により、薬学部、大学院薬学研究科開設
大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設
大学院メディアデザイン研究科開設
- 2011 東日本大震災
- 2013 **横浜初等部開校**
慶應大阪シティキャンパス開設（リバーサイドキャンパスを移転）
- 2015 **大学部開設125年記念式典・講演会開催**
- 2016 **殿町タウンキャンパス開設**
- 2020 **新・日吉記念館竣工**
- 2021 **慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）開館**



- ① オランダでの福澤諭吉
- ② 大学部校舎（1904年竣工）
- ③ 開設間もない日吉キャンパス
- ④ 創立100年記念式典
- ⑤ 創立150年記念式典

募集のあらまし

1. 募集人員

男子：約 140 名 女子：約 50 名
(内部進学者の進学状況により多少の変動があります)

2. 募集要項の発表と出願

- ① 2022 年度募集要項の発表
中等部ホームページに掲載します。
9 月 1 日 (水) を予定しています。
必要書類はプリントアウトしてください。
※願書の頒布はなくなりました。
- ② 出願期間
Web：12 月下旬
郵送：1 月 10 日 (月・祝) ～ 1 月 11 日 (火)
Web・郵送とも必須となります。
※郵送については、日本国内の郵便局の消印 (1 月 10 日 (月・祝) ～ 11 日 (火) の消印) があるものの郵送受付のみとし、本校での窓口受付はいたしません。
- ③ 出願書類
 - (1) 入学志願書
 - (2) 報告書 (出身小学校記入)
 - (3) その他中等部で指定するもの
- ④ 入学検定料 30,000 円

3. 入学試験

- ① 一次試験 国語・社会・理科・算数
- ② 二次試験 (一次試験合格者のみ)
体育実技・保護者同席の面接
- ③ 試験日程
 - ・一次試験
2 月 3 日 (木) 8:30 ～ 12:30
 - ・一次合格発表
2 月 4 日 (金) 15:00 ～ 17:00
 - ・二次試験
2 月 5 日 (土)
※二次試験は以下の時間帯の中で、2 時間程度を学校側で指定します。

女子 7:50 頃 ～ 11:00 頃

男子 10:00 頃 ～ 18:00 頃

・合格発表

2 月 6 日 (日) 15:00 ～ 17:00

※一次・二次とも、Web 上で 15:00 ～ 16:00 の時間帯に合格発表を行います。

④ 試験場

一次試験 慶應義塾大学三田キャンパス
(男子：第一校舎・女子：西校舎)

二次試験 慶應義塾中等部校舎

4. 学 費

入学に必要な費用は、2022 年度については未定ですが、参考までに 2021 年度の現行額は次の通りです。

入 学 金	340,000 円
授 業 料	860,000 円
教育充実費	200,000 円
校友会費	15,000 円
合 計	1,415,000 円
(授業料分納の場合 985,000 円)	

※義塾内の他の中学校に入学手続きを完了した者には、納入した学費等の振替制度があります。

※所定の期日までの入学辞退者には、入学金を除く学費を返還します。

※なお、詳細は 2022 年度募集要項をご参照ください。

Q & A

入学試験について

Q 1. 受験にあたって条件がありますか？

A. 特別な条件はありません。受験資格としては、下記ア、イのいずれかに当たる者としています。

ア. 2022年3月に小学校、またはこれと同等の学校を卒業見込みの者。

イ. 次の(1)(2)の条件を共に満たしている者。

(1) 2009(平成21)年4月2日から2010(平成22)年4月1日までに生まれた者。

(2) 海外に在住し、2022年4月以降日本に居住予定の者。

※なお、上記ア、イ共に東京都およびその周辺に保護者(代理者可)が居住、または居住予定の者に限ります。

Q 2. 志願者数、合格者数はどのくらいですか？ また、繰上合格はあるのですか？

A. 最近3年間の志願者数、合格者数は以下の通りです。

		志願者数	合格者数
2019年度	男子	991	170
	女子	511	54
2020年度	男子	956	171
	女子	458	58
2021年度	男子	1,026	158
	女子	496	62

この他、繰上合格者が若干名いますが、年度によって増減があります。

Q 3. 帰国生入試は実施していますか？

A. 実施していません。

Q 4. 入学試験の時間と配点を教えて下さい。

A. 国語・算数が各45分で各100点、社会・理科が各25分で各50点です。

Q 5. 受験の際の持ち物を教えて下さい。

A. 一次試験で必要なものは、受験証・筆

記用具(鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム)です。下敷・定規・コンパス・分度器は必要ありません。一次試験の試験場の各教室には時計はありません。腕時計を持参してもかまいませんが、アラームをセットして使用してはいけません。計算機、計算機のついた時計の持ち込みは禁止しています。二次試験で必要なものは、受験証・体育着・体育館用の運動靴・外履きを入れる靴袋・衣服などを入れる袋です。なお、一次試験・二次試験ともに、上履き、お弁当は必要ありません。

Q 6. 特に重視される科目はありますか？

また、教科ごとの足切りはありますか？

A. 特に重視する科目、教科ごとの足切りはありません。一次試験・二次試験を総合して最終の可否を決定します。

Q 7. 保護者同席の面接では、両親共に出席しなければならないのですか？

A. できるかぎりご両親でご出席下さい。やむを得ない場合には、お一人でも結構です。なお、二次試験の時間は、学校側で指定させていただきます。

Q 8. 寄付金がありますか？

A. 義務づけられた寄付金はありません。ただし入学後に、任意で、「慶應義塾債」(1口10万円でできましたら3口以上、大学卒業時または大学院修了時に償還)のお引受け、及び「慶應義塾教育振興資金」(年額1口3万円でできましたら2口以上)、慶應義塾の教育・研究・医療環境整備事業の募金、中等部教育充実資金へのご応募をお願いしています。これらは、教育充実のために使われるものです。

Q 9. 慶應義塾の中学三校(普通部、中等部、湘南藤沢中等部)を併願することは可能ですか？

A. 三校とも受験可能となるように配慮します。

学校生活について

Q 1. 通学範囲はどのくらいですか？

- A. 今年度の新入生（252名）では、東京23区内から189名、東京23区外から10名、神奈川県から31名、千葉県から10名、埼玉県から11名、静岡県から1名が通学しています。片道の通学時間は、30分までが46名、1時間までが152名、1時間30分までが51名、2時間までが3名です。

Q 2. 学校指定のカバンはありますか？ また、靴は革靴でなければなりませんか？

- A. カバンや靴に指定はありません。ただし、基準服を着る場合には黒の革靴、体育館では赤ひもの運動靴を使用します。

Q 3. 昼食と売店について教えてください。

- A. 昼食は弁当持参が原則となっています。構内にパン・ジュースの自動販売機がありますが、生徒の成長・発育に十分な食事とはいえません。また、事務室では、文房具を販売しています。

Q 4. 校友会活動（クラブ活動）への参加状況を教えてください。

- A. 校友会への参加は自由ですが、どの部にも所属していない生徒はほんの数名です。各部の活動は原則として平日週3日以内ですから、兼部している生徒もたくさんいます。

Q 5. 生徒用のコンピュータの施設について教えてください。

- A. 2021年4月現在、CAV室に50台、ポプラ館分割教室に26台、視聴覚教室に42台（タブレット）、その他生徒が利用できるものが数台あり、すべてインターネットに接続可能です。

Q 6. いじめはありますか？また、どのような対策をとっていますか？

- A. 日頃、互いを尊重しあうことの大切さを指導していますが、残念ながら、いじめが起こることもあります。いじめに対して、学校として厳しい姿勢で対応しています。いじめが起きた場合、起こりそうな状況があった場合、教員同士が連携しながら解決するまで取り組んでいます。

Q 7. 不登校の生徒はいますか？

また、どのような対策をとっていますか？

- A. 学年によっては、不登校の生徒がいる場合もあります。カウンセラーが週2回カウンセリングを行います。また、担当の小児科医、ストレスケアの専門医とも緊密に連絡をとって対応します。

Q 8. 慶應義塾の中学校には、中等部の他に普通部・湘南藤沢中等部がありますが、各学校の特色を教えてください。

- A. 中等部は男女共学70年間の歴史の中で集団生活における幅広い体験を重視する学校、普通部は長い伝統のもとで個性の伸長を図る男子校、湘南藤沢中等部は時代の流れに先行する試みを盛り込んだ中高一貫の男女共学校といえるでしょう。

Q 9. 学費以外にかかる費用はどのくらいですか？

- A. 入学までに、基準服（7万円程度）、体操服（2万5千円程度）、スモック（5千円程度）、絵の具（1万3千円程度）、防災ずきんカバー（千円程度）を購入します。今年度の1年生は、積立金（教材、遠足、見学、鑑賞会等の費用）として年額9万円、林間学校費用として5万5千円をお預かりしています。この他に、各クラブでの必要用具一式を揃えるのに数万円かかり、長期休暇中のクラブの合宿に1回当たり4～6万円かかります。

Q 10. 中等部に入学した後、保護者と共に海外に転出し、その後帰国した場合、中等部に復学することはできますか？

- A. 2年間までなら復学できます。ただし、学年が遅れることなく復学するには、次の①～④のすべての条件を満たしていることが必要です。

- ① 1年次の第1学期および3年次の第2・3学期は中等部で学習すること。
- ② 海外渡航期間が1年以内（渡航開始時期によっては最大4学期）であること。
- ③ 復学時に試験を受けてその学年に相当する学力が認定されること。
- ④ 渡航期間中は中学校と同等の学校に就学すること。

なお、学期中の生徒のみでの留学は認めていません。

授業について

Q 1. 各教科で使用している教科書や教材を教えてください。

- A. 今年度の1年生では、次の教科書・教材を使用しています。その他、プリント教材を必要に応じて使用します。

国語：中学国語1（教育出版）
新・国語の便覧（正進社）
中学書写（教育出版）
社会：新しい社会 地理（東京書籍）
新しい社会 歴史（東京書籍）
中学校社会科地図（帝国書院）
資料カラー歴史（浜島書店）
数学：中学校数学1（学校図書）
新 A CLASS 中学数学問題集1（昇龍堂）
理科：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）
最新理科便覧 東京都版（浜島書店）
音楽：中学音楽1（教育出版）
中学器楽（教育出版）
慶應歌集（慶應義塾大学応援指導部）
美術：美術1（光村図書）
技術：新技術・家庭 技術分野（教育図書）
家庭 新技術・家庭 家庭分野（教育図書）
保健：中学保健体育（学研）
体育 ステップアップ中学体育（大修館書店）
英語：NEW HORIZON 1（東京書籍）
新中学問題集（発展編）1年
（教育開発出版）
速読英単語中学版（Z会）
道徳：生き方から学ぶ（日本教科書）

Q 2. プールはありますか？

また、水泳の授業はありますか？

- A. 6月中旬～9月下旬にかけて水泳の授業を行います。1年生では、25m 泳げない生徒やフォームの改善を要する生徒を重点的に指導します。

Q 3. 進度別・能力別授業はありますか？

- A. 英語では、週1時間、習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行っています。

Q 4. コンピュータを使った授業には、どのようなものがありますか？

- A. 1・2年次の「情報」の授業では、ネットワーク利用上のルールやマナーをはじ

め、基本的なソフトウェアの利用についても指導します。他の教科でも、調べものやレポートの作成など、必要に応じて取り入れています。

また、今年度入学生よりタブレット（iPad）を1人1台導入し、各授業やHR等で活用する予定です。

Q 5. 家庭教師についたり塾に通う必要はありますか？

- A. 生徒の学力には個人差がありますので一概にはいえませんが、予習・復習をしっかりと行い、中等部の授業をきちんと聴いてノートをとっていれば、特に必要ありません。

Q 6. 授業について行くのが難しい生徒はどのように指導していますか？

- A. 担当教員が個別の指導を行って課題を出したり、少人数の補習を行ったりして補います。また、教員室は生徒が自由に入室できますので、質問をしに来る生徒がたくさんいます。

Q 7. 英語検定・漢字検定は学校で受検できますか？

- A. 英検は年に1回、漢検も年に1回、希望者を対象に中等部の校舎を会場として受検できます。なお、英語の授業では、学外テストを全員受験し、自分の英語力をスコアで客観的に把握してもらっています。

Q 8. 昨年新型コロナウイルスが流行した時期に授業はどのように行っていましたか？

- A. 2020年5月から、全ての教科をオンライン授業に切り替えました。Google Classroomを活用した、オンデマンド型の授業です。同6月からは分散登校での対面授業を復活させ、オンライン授業も並行して続けました。

2学期以降はコロナ対策をしながら通常の対面授業に戻し、Google Classroomは各教科の課題や伝達手段として補完的に使用しました。

進学について

Q 1. 高校への進学について教えてください。

- A. 中等部に学ぶ生徒は、特別に進学のための試験を受けることなく、中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。ただし、普段の学習や素行の面において、特に不良の場合には、進級・進学に影響することもあります。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部へは進学できません。

Q 2. 中等部を卒業して塾内高校に入学する際、入学金を支払う必要はありますか？

- A. 塾内のどの高校に進学しても、改めて入学金を納めていただいています。

Q 3. 慶應義塾大学の学部選択について教えてください。

- A. 慶應義塾大学には、文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部・薬学部がありますが、中等部在学中から、進学する学部を決めてしまうことは必ずしも好ましいことではありません。学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を重ねることが、自分の可能性の発見につながるのです。なお、昨年度の各高校からの進学状況は、次の表の通りです。

	日吉	志木	女子	藤沢	N Y
文	20	13	25	8	9
経 済	210	80	56	52	18
法	224	74	54	64	20
商	95	19	20	22	15
医	22	7	5	7	2
理 工	100	50	18	27	6
総 合	24	4	5	20	14
環 境	27	5	11	25	14
看 護	0	0	1	2	1
薬	4	0	7	3	0
その他	6	3	4	1	0

高校ごとに、学部への推薦枠を設けていますが、以前から医学部、近年は法学部も進学希望者数が推薦枠を超えています。この場合、成績により希望の学部に進学できないこともあります。

そ の 他

Q 1. 構内を見学することはできますか？

- A. 平常は構内の見学はできません。11月6日(土)12:00～16:30、7日(日)9:30～16:00に開催される展覧会の際にご覧下さい。なお、10月7日(木)に日吉キャンパス陸上競技場で行われる運動会(雨天時は10月8日(金)に順延の可能性あり)も公開しています。

※上記の公開行事については、新型コロナウイルス流行等の事情で、変更や中止になる可能性があります。

Q 2. PTA 活動はありますか？

- A. PTA 組織はありません。年に4・5回行われる保護者会では、成績や生活など、担任教員と保護者との懇談の機会が設けられています。また、個人的な面談はいつでも受け付けています。

Q 3. 奨学金制度はありますか？

- A. 「小泉信三記念高等学校以下一貫教育校奨学金」(授業料の全額または半額)、「2000年記念教育基金奨学金」(金額は必要に応じて決定)、「中等部同窓会ひまわり奨学金」(授業料・施設設備費および教材費の合計の半額～全額)があります。申請資格は、(1)経済的事情により学業の継続が困難となった者、(2)成績・品行ともに優れ健康である者、となっています。

中 等 部 記 念 の 歌

創立二十周年記念

風 が 光 が

作詞 大槻 茂彦（19回生）
作曲 大迫 直樹（19回生）

一 のびのび遊ぶ ぼくたちに

風がやさしく 吹いてきて

「ゆたかになろう」とやさやいた

そつだ ぼくたち胸はつて

こころゆたかに のびるんだ

二 あかるく集う ぼくたちに

光がやさしく さしかけて

「ほこりをもとう」とやさやいた

そつだ ぼくたち胸はつて

ほこりをもつて すすむんだ

三 楽しく学ぶ ぼくたちに

ペンのしるしが ほほえんで

「道は遠い」とやさやいた

やるぞ ぼくたち胸はつて

きつと進むぞ この道を

創立三十周年記念

みんなの30年

作詞 原 美津穂（29回生）
作曲 喜多村めぐみ（30回生）

一 朝 さわやかな朝

青い空にこだまする

さわやかな声

みんなが笑ってる

わたしも笑ってる

おはようユニコン

二 歌 明るい歌

白い校舎にこだまする

明るい声

みんなが歌ってる

わたしも歌ってる

楽しいハーモニー

三 夢 みんなの夢

若い心にこだまする

希望の声

みんなが夢みてる

わたしも夢みてる

明るいあした

創立五十周年記念

時のかけ橋

作詞 松村 理恵（49回生）
作曲 酒井 基成（51回生）

一 いま 握りしめた手と手は

夢を創った人からつながる

受け継いできた Knowledge

燃える思いは Energy

守り続けた Independence

いつの時代も Opinion

自分を語ろう

二 いま 固く結んだ心は

未来を拓く人へとつながる

生命すべてに Kindness

どんな場面も Elegance

磨き続ける Intelligence

扉開く Originality

世界を創ろう

記念の歌について

中部部創立 20周年・30周年・50周年の各記念の歌は、作詞・作曲共にその当時の在校生の手によるものです。



2022年度 慶應義塾中等部 学校説明会資料

2021年 9 月 1 日発行

発 行 所

慶應義塾中等部

東京都港区三田 2 丁目17番10号

03-5427-1677

<http://www.kgc.keio.ac.jp>

印 刷 所

(有)梅沢印刷所

東京都港区三田 2 丁目15番45号